

アセンション BOOK37

アセンションの扉5

2018年 5月

# アセンションの扉5

## 創造主の光と闇の統合



## 創造主の光と闇の統合 目次

- 第1章 光と闇を併せ持つ女帝「煌めきの創造主」
- 第2章 闇とひとつになった創造主の最後
- 第3章 最高次元の創造主が分離した闇
- 第4章 闇のエネルギーから生まれた創造主達
- 第5章 アセンションの隠された真実
- 第6章 アセンションを迎えた地球
- 第7章 新たな種族を生みだす苦勞
- 第8章 異なる宇宙の創造主からの試練
- 付録 アセンションの目的について  
光の世界の区分

作者 瀬戸武志&宇宙の光

アセンションブック

<https://www.k-suai.com/>

宇宙の光公式 HP <http://hikari1.com/>

アセンション評議会 <http://s-sun1.com>

アメブロ光の世 <http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI [yume34@k-suai.com](mailto:yume34@k-suai.com)

イラスト

えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

# 第1章 光と闇を併せ持つ女 帝「煌めきの創造主」

## PART1 光と闇が混在したダーククイーン

地球の物理次元の分離もどんどん進んでいるようです。

2018年3月には、光51%以上の世界の細かい分離が行われる予定ですが、地球人そのものの区分けはまだ少し時間がかかるようです。

地球の物理世界でも、まだ光40%台の世界に行く人と光50%台の世界に行く人がまだまだ混在しています。

そのために、私達も異なる世界に行く人と深く交わるときには、異なる世界のエネルギーが私達に流れ込み体調に異変が生じる時もあります。

前回のアセンションブックでは、「闇とひとつになった創造主」によって生み出された闇の創造主達をとらえたところまでお話しをしました。

私達は、この宇宙に残された闇の創造主達はこれでほとんど捕える事ができたと喜んでいました。

そして地球の分離とアセンションもまもなく終わるだろうと思っていました。

しかし、「闇とひとつになった創造主」には、まだこの地上に残していた創造主がいたのです。

それも私達が予想もしないほどの強力な力を持った創造主でした。

2月25日の事、恵理さんはこのところ続いている頭痛に悩まされていました。

その頭痛は、彼女の頭にしがみついた薄気味悪いエネルギーによって起こされているようです。

いつものようにスターピープル達にお願いして、そのエネルギーを送っている存在を探してもらったのですが、人と一体化したダークピープル達までは見つかるのですが、それ以上の存在は見つける事ができません。

間もなく、次の「大天使による統合と浄化のセミナー」の準備に入らなければならないので、頭痛を早く治したいと恵理さんは言ってきます。

この頭痛は、彼女の体調もあるかもしれませんが、これから行われるセミナーの妨害をする為に送られてくるサイキックなエネルギーのような感じがします。

私はピカフラッシュと創造主でチームを組んでもらい、様々な次元に隠されたエネルギーを洗い出しながら、恵理さんにエネルギーを送っている張本人を探し出していきます。

するとようやく1人の創造主の姿が浮かび上がってきました。

数名の創造主が、この創造主を捕えようとしますが、すぐに姿を消してしまい、なかなかつかまえる事ができません。

おそらく、私達が考えている以上の能力を持っている可能性もありますので、第20評議会の創造主の手を借りてつかまえる事にしました。

ようやくこの創造主を捕まえる事ができたのですが、私達はその創造主をみて不思議に思いました。

その創造主は、私達が未だアセンションの事を深く知らなかった2015年の秋頃、恵理さんと深く繋がる「輝きの創造主」を憎み攻撃していた「煌めきの創造主」によく似ているのです。

しかも、この創造主は光の創造主のエネルギーと闇の創造主のエネルギーをあわせ持つ創造主のようです。

私は、第8評議会の創造主にこの創造主の事を知っているかと、尋ねましたが、第8評議会の創造主はよく知らないようです。私は、「闇の創造主を統治する創造主」にも聞いてみました。

「闇の創造主を統治する創造主」は、しばらくこの創造主の様子を調べてから答えます。

「この創造主は、かつて皆さんの宇宙の「光の創造主」として活躍していました。

それは、創造主大戦争が起きる少し前の事です。

「始まりと終わりの創造主」は、この「煌めきの創造主」をととても気に入って自分の仕事を「煌めきの創造主」に手伝ってもらっていました。

光の創造主である「煌めきの創造主」は、まだ創造主大戦争が起きる前でしたので、「始まりと終わりの創造主」のお手伝いを喜んで行い、彼から多くの事を学んでいました。

しかし創造主大戦争が始まって「始まりと終わりの創造主」達が闇の力を持ち、光の多い宇宙でもその力を行使始めた時、光の創造主である「煌めきの創造主」は、闇の力をまとって強力なパワーを持つ事になった「始まりと終わりの創造主」にますます惹かれていき、彼らと共に行動するようになったのです。」

「それでは、この「煌めきの創造主」は、もともと私達の宇宙の光の創造主だったという事ですね。」

「その通りです、彼女はもともと皆さんの宇宙の第 1、第 2 評議会に属していました。その頃はまだ、大きな力を持たないまだ若い創造主でした。

彼女は「始まりと終わりの創造主」が闇に飲みこまれた後も、「闇とひとつになった創造主」の指示を受けていくつもの宇宙で、彼の代わりに働いていました。

そして長い時間が経つ間に、闇の力を得てあの当時の「始まりと終わりの創造主」に近い能力を得るに至ったのです。」

「それでは今の評議会で言うと、第 16 から第 18 評議会に値する能力を持っているというのですか。

彼女は、私達の宇宙でどのような事をしてきたのですか。」

私は、光の創造主の 1 人が自らの意思で闇の創造主になってしまった事。

そして闇の創造主でありながらも、光の創造主の側面を持っているという事に戸惑いを感じています。

「彼女はいつも「闇とひとつになった創造主」の力を借りて闇の中に存在していますので、私も彼女が行った事についてはよく知らないのです。

これから第 20 評議会が、彼女が行った事を詳しく調べるでしょう。

ただ、彼女は光の創造主と闇の創造主の 2 つの面を持っているので、光の創造主の中に紛れ込み、光の創造主達を洗脳してコントロールする事を得意にしていました。

皆さんの宇宙だけでなく、他の宇宙でも、彼女は光の創造主達に取り入って、創造主達を闇の世界に引きずり込んだ事が何度もあります。

とても厄介な存在だと言えるでしょう。」

「という事は、恵理さんにつながる「輝きの創造主」を罠にかけて攻撃していた「煌めきの創造主」は彼女だったのですか。」

「おそらく彼女が作り出した光と闇を併せ持つ創造主の1人だったのでしょう。」

私は、その当時起こった「輝きの創造主」と「煌めきの創造主」の小競り合いが仕組まれていた事だったのだと理解しました。

私達が会話をしている時、ロッド星人が私に緊急の報告に来ました。

「TAKESHIさん、「煌めきの創造主」は、恵理さんを通して皆さんの世界に光40%台の闇のエネルギーを急激に流し込もうとしたようです。」

「そうなる、どうなるのですか。」と私は尋ねました。

「大量の光40%台の世界のエネルギーが光50%の世界に流れ込むと、その世界のエネルギーがアンバランスになってしまいます。最悪の場合、その影響でアセンションの分離の壁が崩壊したり、世界そのものがバランスを崩して爆発する恐れもあります」

## PART2 世界を無に帰す「煌めきの創造主」

私は、ロッド星人の話しを聞いて、「煌めきの創造主」が大変な事を計画していた事に気付きました。

その詳細をしらべるために、第20評議会の創造主に「煌めきの創造主」をどうしたか尋ねてみました。

第20評議会の創造主は、私達の前にすぐにあられわれ今回の件を報告してくれました。

「TAKESHIさん、皆さんのおかげで「煌めきの創造主」を捕まえる事が出来ました。

大変ありがとうございました。

私も、この創造主が「闇とひとつになった創造主」と共に働いている事は分かっていたのですが、彼女を捕まえる事が長い間できなかったのです。」

「本当に捕まえる事ができてよかったですね。

それで、彼女が行った事を調べる事ができましたか。

調べが終わったらこの創造主は光に返すのですか。」

「取り調べはなかなか進みませんし、ひとつ厄介な問題がおきたのです。

私達としては取り調べが終わったら「煌めきの創造主」を光に返したいのですが、「煌めきの創造主」は、物理世界の人々と深く繋がっており、人々から必要とされているために光に返す事が出来ないのです。

彼女は、地球の物理世界の事も良く知っていますので、捕まえられた時のために、色々な準備をしているようです。」

「なるほど、確かに闇の創造主達は、物理世界の事を良く研究していますので、そのような事をよくしてきます。

一度、私に話しをさせてもらえませんか。」

「もちろんです、宜しくお願いします。」



「「煌めきの創造主」よ、あなたは、もともとは光の創造主だったようですが、なぜ闇の創造主になってしまったのですか。」

「煌めきの創造主」は、私の言葉を聞いて高笑いをしました。

「私は、光でも闇でもなく、その両方の力を持つ特別な創造主です。

皆さんをはじめ、皆さんの宇宙の創造主達は、そのような事も理解できないほど愚かな存在なのです。」

「それでは、私達を通して、光 40%台のエネルギーを私達の世界に流し込み、私達の世界を崩壊させようとしたのはなぜですか。」

「煌めきの創造主」は、私をみて笑います。

「あなたが、光の創造主達の期待の的である TAKESHI さんですね。

思ったより小さくて愚かな存在ね。

私にとって、光の世界も闇の世界も、もうすでに古臭くなった廃墟のような世界だから、両方を壊して新しい世界を作るのです。

あなた方の世界も闇が多い世界も、ルールだらけで自由な創造が出来なくなっています。そこに生きる創造主も人々もみんながちっぽけでつまらない存在ばかり、こんなできそこないの宇宙なんて意味がないという事があなたには分からないようね。

私は、これらの世界を新しい力で再生させてみせましょう。」

そうやって彼女は、甲高い声で笑います。私はそのヒステリックな笑いに、彼女の狂気とカオスのような深い闇を感じます。

「「煌めきの創造主」よ、そうすると私達だけでなく多くの人の生命が失われてしまいます。

あなたは、地球の人々があなたの事を求めていると言われましたが、そのような人々の命も失われてしまう可能性もあるのですよ。」

「そんな事は、分かり切っています。  
私を求める人は、私の世界で生きていけばよいのです。  
そこにはパワーも豊かさもすべてそろっています。」

「あなたは、多くの人が自分を必要としていると言いましたが、それは本当の事ですか。  
あなたが、地球人をマインドコントロールしているだけではないのですか。」

「いいえ、地球人の本質は欲望です。  
他人を支配したり、自分が豊かになるために多くの物を手に入れたり、奪ったりする事は、地球人が望む事なのです。  
それは地球人の本性といっても良いかもしれません。  
私は、地球人の本性が求めるものを与え続けているにすぎないのです。  
その証拠に、地球人は私達を讃え、私達をさらに求めてくるのです。」

「いや、それは違います。  
皆さんが、地球人の欲望を掻き立てるために様々なものを与え、彼らの意識をコントロールしているのです。  
本来は、地球人はスターピープルに進化するために、地球に生み出された種族でしたが、皆さんが地球人の進化を妨げ、競争心や戦う心を植え付けたのです。」

「たとえそうだととしても、それがいけないのですか。

欲望にみちた世界を選択したのは、まさに地球人なのですよ、私達に責任はありません。」

「煌めきの創造主」は、私を馬鹿にするように嘲笑いました。

「もしあなたが、地球人をコントロールしてあなたが与えるものを欲しがるようにしていたのなら、それは創造主としてのルールに反する事です。

そのような事をあなたが行っていれば、あなたは光に返される事になりますが、良いですか。」

「私は、あなた方の古臭いルールに従うつもりなど全くありません。

あなた方は上位の創造主にとっては、ただの操り人形です。

操り人形は、操り手に従う事しかできません。私は、皆さんと違って操り人形などではないので、皆さんが私を光に返す事などはできません。」

これでは、いくら話しをしても無駄のような気がします。

私は目を閉じ、どうしたらよいか、考え始めました。

その時、私の口から思いがけない言葉が出てきました。

「皆さん、この「煌めきの創造主」に、「宇宙の根源の愛」を送ってあげてください。そして彼女の心を癒し、愛でみたしてください。」

「煌めきの創造主」は、私が言った言葉を鼻で笑っていますが、その場にいた創造主達は、

「煌めきの創造主」に対して「宇宙の根源の愛」を送り始めました。

その時、私のハートを貫いて力強い愛のエネルギーが「煌めきの創造主」に送られていきます。

私は、この愛のエネルギーは、今まで会った事もない第21評議会の創造主の光であると直感しました。

「宇宙の根源の愛」のエネルギーに満たされた「煌めきの創造主」に変化が起こりました。

「煌めきの創造主」の内側から、どす黒い闇のエネルギーが抜け出していくのです。

私の事をあざ笑っていた「煌めきの創造主」の口元が苦痛にゆがみます。

「煌めきの創造主」は、体をねじりながら自分の体から闇のエネルギーが抜け出さないように体を抑えようとしています。彼女の体から闇のエネルギーは抜け出し消えていきました。

そのあとに残った「煌めきの創造主」はこれまでの傲慢さが消えた清らかな創造主です。おそらく闇のエネルギーが「煌めきの創造主」のスピリットを捉えていたのでしょう。

「煌めきの創造主」は、我に返ると自分が行ってきた事に驚いています。

「煌めきの創造主」は、自分のスピリットが闇のエネルギーに捉えられていたとしても、それは自分が望んで行ってきた事なので、自分が行った事を覚えているようです。

「私は、とんでもない事を長い間行ってきました。

皆さんの宇宙だけでなく多くの宇宙に対して大変な迷惑をかけてしまいました。

創造主やスターピープル達をだまして破壊的な行為を行なわせてきました。

自分が行った事を皆さんにいくら謝っても取り返しがつきません。

どうか、私を光に返してください、お願いします。」

先ほどまでの「煌めきの創造主」とは、まったく別人のような変わり方です。

本来の「煌めきの創造主」は、このように素直な創造主だったのでしょ。

彼女は自分が行った事の重圧に耐えきれず、光に戻る事を懇願しているようです。

第20評議会の創造主も、彼女の願いを認め、「煌めきの創造主」は光に帰っていきました。

私達は、彼女が光に帰った事で、彼女が今まで行って来た事が明らかになりますので、その処理を行わなければなりません。

いったい彼女が、地球の物理世界でどの様な仕組みを作っていたのか、調べなければなりません。

そして、彼女から闇のエネルギーを取り去った第21評議会の思惑とは何か、気になります。

その時、突然「闇とひとつになった創造主」の姿が浮かび上がりました。

彼は「煌めきの創造主」を失った事をととても悔しがっていました。

自分が育て上げて、自分の代わりに闇が多い宇宙を統治していた大切な部下を私達に奪いとられた事を怒っているようです。

私達は、背筋に寒気を覚えました。

これから何が起こるのか、心配です。

## PART3 ダークピープルの種と裏の地球

翌日に、大天使達のセミナーを控えた前日。いつものように恵理さんを強い頭痛が襲います。

おそらく「煌めきの創造主」が光に帰った事で、残されたダークピープル達が私達に対して反撃に出たようです。

恵理さんが痛みに耐えかねて横になっているときに不思議な夢を見ました。

それは男性の産婦人科の医師が、恵理さんを自分の病院に連れて行こうとしているのです。

私達はもうすでに、次の子供を産む病院は決めていますので、異なる病院に行く事はないのですが、夢で誘われるという事は、スピリチュアル・レベルで何かしらの問題が起きているようです。

私は、スターピープル達にお願いして、恵理さんの夢を調べてもらいます。

「TAKESHIさん、恵理さん、やはりこれはダークピープル達の仕組んだ罠でした。

この医師が案内しようとした病院は、生まれたばかりの子供達にダークピープルの種を入れるための施設だったのです。

ここで生まれた子供達は、すべて将来ダークピープルになるように仕組まれていました。スターピープルとしての資質を持っている子供は特に嚴重に管理され、スターピープルとしての資質をうばわれていました。」

これは現実世界でも起こっている事のようにです。

子供が生まれたときに、産婦人科の医師や看護師を通してダークピープルが子供達に関

わり、子供達をダークピープルになるように仕組んでいくのです。

そのような子供達は大きくなるにつれてダークピープルとしての要素が出てきます。とても自己中心的で乱暴な子供や頭は良いけれど冷酷な子供達に育っていく可能性があります。

「ロッド星人、彼らはどの様なダークピープルの種を入れているのですか、」と私はたずねました。

「以前、私達は同じような事を行う施設を見つけました。

その時は、闇のナソール人達の種を子供達に入れてナソールチュードレン達を作り上げていたのですが、今回は、その時とは異なるようです。

私達も良く知らないダークピープルで、あまり感情を持たずに行動するタイプのようです。

彼らの事は、これからよく調べないと、ダークピープルの種に入れられた子供達が将来どうなっていくか予測が付きません。」

「これもあの「煌めきの創造主」が作り上げた物でしょうか。」

「おそらく、間違いないでしょう。彼女が光に帰った事で、彼女が隠していたものがどんどん明るみにでてくるとおもいます。」

「という事は、このように子供達にダークピープルの種を入れて、地球人をダークピープルにしたうえで、自分達を必要とさせていたのならば、それは創造主としてもルール違反ですよ。」

「「煌めきの創造主」は、きっとこの事も隠し通せると思っていたのでしょ。う。  
そして「煌めきの創造主」はいくつもの宇宙に関係していますので、私達が知らないダークピープルの種を使えば、私達に見つからないと考えていたようです。」

「そうすると、どの世界からこのダークピープルの種を持ってきたのかも調べないといけませんね。  
このような施設はまだほかにもありますか。」

「仲間達が調べていますが、相当な数に上っているようです。  
そしてそれぞれの施設には、多くの子供達や地球人のスピリットが捉えられていますので、大天使達とも協力し合って、スピリットの解放をおこなっているところです。」

暫くするとロッド星人から緊急の連絡が入りました。

「TAKESHI さん、大変な事が分かりました。ダークピープルの種を入れていた施設をしらべ、このダークピープルの種の元となったダークピープルをさがしていた所、地球と同じような世界が別に作られていた事が判明しました。  
すぐにこちらに来てください。」

私も予想外の展開に驚き、創造主達を伴ってすぐにロッド星人のもとに行きました。  
すると、そこには不思議なゲートが隠されており、その向こうには地球の光 40%前半の世界に良く似た世界が開かれていました。

「これは「煌めきの創造主」が作り上げた物でしょうか。」と、私は尋ねます。



「おそらく、「煌めきの創造主」が作った物に間違いはないでしょう。

光40%台のスターピープルに調べてもらったところ、ダークピープルの種を生みだしたダークピープル達も沢山いましたし、ここに連れてこられた地球人の多くがダークピープル化していました。

もしかしたら、光をもった地球人達がこちらに連れてこられてダークピープルとして育てられた後に、今迄の地球に返されていたのかもしれない。」

創造主達も中に入って調べているようですが、かなり大掛かりな世界がこっそりと作られている事に驚きを覚えています。

「しかし、これだけの世界が今まで見つからなかったというのが不思議ですね。」

「おそらく「闇とひとつになった創造主」と「煌めきの創造主」が協力して隠していたのでしょう。

この世界に捕らわれた人達の救出が終わったら、この世界はすぐにでも光に戻したいと創造主が言っていました。」

とロッド星人が答えました。

「そうですね、そうしたほうが良いでしょうね。」と、私も同意します。。

この日は、「大天使による浄化と統合のセミナー」の開催日です。

その前日から、「煌めきの創造主」が残した様々な仕組みを洗い出し、片付けていたのですがセミナーの中でも、「煌めきの創造主」が作り出した大きな罠に直面する事になりました。

それはセミナー参加者の過去世をしらべていた所、その過去世を送っていた時に、彼女

のスターピープルとしてのスピリットが捕えられていた事が分かったのです。

スターピープルのスピリットを持つ人は、他の星々から地球人の意識進化をサポートする為に地球人に生まれてくるのです。

しかし、今迄の闇が深い地球では、その様なスピリットを持っている人は、通常の地球人と比べても各段に大きい光を持っていますので、ダークピープル達にすぐに見つかってしまいます。

そして、スターピープルとしての仕事ができないように、大切なスターピープルとしてのスピリットや光を奪い取られ、本来持っている能力も使えなくなってしまいます。

もちろん自分の使命や役割りも忘れて、ただの地球人として生きていく事になります。

ひどい場合には、ダークピープルの種を入れられ、ダークピープルとして働かされる時もあります。

私は、スターピープル達に、セミナー参加者のスピリットを取り戻す事と他の人達のスピリットも捕えられていないか調べ、捕えられていれば全ての人のスピリットを開放するようにお願いしました。

多くのスターピープル達が、セミナー参加者が捕えられていたゲートを通して闇の世界に入って行きました。

暫くすると太陽種族のフレッド達が報告にやってきました。

「TAKESHI さん、ここに張り巡らされていた罫は、地球にサポートに来た優秀なスターピープル達をとらえるための罫でした。

多くのスターピープル達のスピリットが捕えられていましたが、その多くが地球にサポートに入ったまま姿を消してしまった者達ばかりでした。

彼等のスピリットが発見できて、それぞれの星のスターピープル達は大変喜んでいます。」

「やはりこれも「煌めきの創造主」が作った罠なのでしょうか。」

「そうですね、彼女は力を持った創造主ですので、このくらいの事は簡単にやり遂げます。

とても古い時代から今に至るまで、地球にやってきたスターピープル達を捕え、隠し続けてきたのは、彼らの闇の力によるものでしょう。

しかし、「煌めきの創造主」が光に帰ったおかげでこの場所も見つかり、スターピープル達のスピリットを取り戻せた事はとてもよかったです。

地球が完全にアセンションしてしまえば、この場所を見つける事も出来なかったでしょう。」

私達は、このほかにも「煌めきの創造主」によって操作を受けているダークピープル達のサイキックアタックを受けながらも「煌めきの創造主」が今迄に仕掛けていたいくつもの罠を解除して、捕えられていたスピリット達を開放していきました。

## 第2章 「闇とひとつになっ た創造主」の最後

### PART1 闇の創造主からの攻撃

私達は、3月になってからも「煌めきの創造主」が仕掛けた罠を突き止め、そこに捕らわれていたスピリットを開放し続けましたが、私達もその都度、彼等からのサイキックアタックを受けて疲れ果ててしまいました。特に恵理さんは、頭痛や腰の痛みに悩まされていたようです。

そしてある夜の事、私と子供の美輝は、悪い夢にうなされていました。

それは、光40%台前半の世界を彷徨いながら歩いている夢です。

私達は、目が覚めるとすぐにスターピープル達を呼びだし、昨夜見た夢を分析してもらいました。

おそらく私達のスピリットの一部が奪われた事に間違いはないようです。

スターピープル達も、私達のスピリットが奪われないように守護をしていたようですが、突然大きなエネルギーが襲ってきて、彼らの動きを封じたようです。

これは、闇の創造主が関わっている事ですので、スターピープルや大天使の力ではかなうはずも有りません。

私は創造主の手助けをもらって、スターピープルと共に私達のスピリットがどこに連れ去られたか調べる事にしました。

「流れをつくる創造主」に来てもらい、私達の時間をさかのぼってもらおうと、私達のスピリットを奪ったダークピープル達が見つかりました。

ダークピープル達の後をつけると、彼らは大きな白い渦巻の中に消えていきました。きっと、その渦巻は闇の創造主によって作られたエネルギーでしょう。

私は「闇の創造主を統治する創造主」に来てもらい、この渦巻のエネルギーを調べてもらいます。

「TAKESHI さん、この渦巻を作り TAKESHI さん達のスピリットを隠していた創造主が見つかりました。

この創造主は「闇とひとつになった創造主」が作り出した創造主の 1 人です。

彼が、ダークピープルを操り TAKESHI さん達のスピリットを捕えたようです。」

「この創造主は古い創造主ですか。」

「いえ、生みだされて 2~3 年しかたっていません。

比較的新しい創造主で力もさほど強くないようですが、物理世界に近い創造主です。」

「それでは、すぐに光に返せますか。」

「この創造主は正当な創造主ではないので、光に返す事が可能です。

そして TAKESHI さんと美輝さんの奪われたスピリットもすぐに取り戻してきます。」

「闇の創造主を統治する創造主」はそういつて消えていきました。

## PART2 「闇とひとつになった創造主」の最後の抵抗

しかしながら、このような事が2月の後半から毎日のように起こっているのです。おかげで、もうこの時期には完全に終了していなければならない物理世界の分離が、また遅れてしまいました。

私は、第20評議会の創造主に提言しました。

「第20評議会の創造主よ、もうこの辺で「闇とひとつになった創造主」と決着を付けませんか。

このままではあらゆる形で妨害が行なわれ、アセンションの終了時期が遅れるばかりです。

皆さんにとっても「闇とひとつになった創造主」を野放しにしたままでは、自分達の責任を果たす事ができないのではないのでしょうか。」

第20評議会の創造主はしばらく考えた後、重々しく口を開きました。

「そうですね、私達は創造主の学びのために「闇とひとつになった創造主」をそのまま残していましたが、彼はやり過ぎたようです。そろそろ「闇とひとつになった創造主」を光に返す時が来たようです。」

第20評議会の創造主の言葉が発せられると同時に、多くの創造主に緊張が走りました。これから、創造主大戦争以来続いていた光と闇の争いが終結を迎えようとしているのです。

第20評議会の創造主の言葉が各評議会に伝えられると全ての創造主が集まってきました。

これから何が起きるのか誰も分かりませんが、創造主達は沈黙し、自分の内側に光を満たしています。

「それでは始めましょう。

第1評議会の創造主から順番に、私達の宇宙を覆っている闇に光を満たしていただきます。」

第20評議会の創造主がそのように言うと、第1評議会の全ての創造主が自分の内側に満ち溢れてきた光を宇宙全体に向かって放ち始めました。

様々な場所で、闇と光がぶつかり合ってたくさんの火花が散っています。

つづいて第2評議会、第3評議会の創造主が宇宙に光を満たし始めました。

スターピープル達も、創造主達に協力するように「宇宙の根源の愛」を、闇のエネルギーが満ちている場所に向けて送り始めました。

更に第4評議会、第5評議会、第6評議会と光の渦が宇宙の次元をさかのぼっていきます。

私達の宇宙が物理世界から始まって高次の世界まで、輝くばかりの光で満ち溢れていきます。

そして第18評議会のところまで来ると、闇の中から大きな影の様な存在が浮かび上がってきます。

影は苦しそうに悶えながら、闇のエネルギーの中からふらふらと出てきました。

この影こそが「闇とひとつになった創造主」の本体のようです。

闇が光に満たされた為に、闇の中にとどまる事ができずに、闇の中から出てきたのです。

その姿を見た第20評議会の創造主は、闇から這い出てきた創造主に、強い光を当て、彼を光に返そうとしました。

するとその瞬間、「闇とひとつになった創造主」は自分自身の体の中から無数の闇のエネルギーを放出したのです。

第20評議会の創造主は、「しまった！」と叫びました。

「闇とひとつになった創造主」は光に返される直前に、自分の分身のエネルギーを無数に放出したのです。

そして意地汚く笑うと第20評議会の創造主の光の中に溶けていきました。

「闇とひとつになった創造主」から放出された闇のエネルギーは、各評議会の創造主によって捕えられて光に返されましたが、かなりの数の闇のエネルギーが地球の物理世界にまで落ちていきました。

「一体何が起きたのですか。」と私は尋ねました。

第20評議会の創造主が私の問いに答えてくれました。

「「闇とひとつになった創造主」はやがて、自分が光に返される事を予測して、自分の意思とエネルギーを無数に分割して、この宇宙に放出する事を計画していたようです。

彼の意思とエネルギーは、皆さんの宇宙に入り込み、光と闇のバランスを大きく狂わせます。

そして、彼が生み出した闇の創造主やダークピープル達に力を与える事でしょう。



物理世界では、まだ闇の創造主がたくさん隠れているので「闇とひとつになった創造主」の力と意思を受け継いだ創造主が、これから何を行うか心配です。」

「冗談じゃない、何が起きるかわからないなんて。」と私は怒り口調で言いました。彼等が狙うターゲットは私達に決まっていますので、これからは大量に降り注ぐ矢の様なサイキックアタックが来る事は間違いないようです。

私達は、放たれた多くの闇のエネルギーをきれいにするために、今度は高次元の宇宙から光を降ろしていきました。

第20評議会の光を第19、18、17評議会へとおろしていきます。

そして第16評議会からどんどんと下の評議会に流れ込んでいきます。

やがて第20評議会の創造主の光は、第1、第2評議会まで届いたようです。

私達の宇宙が美しい光で彩られていきます。

「闇とひとつになった創造主」が放ったエネルギーもスピリチュアル・レベルにとどまっているものは創造主の光によって消えていきました。

しかし、同じ闇のエネルギーでも、物理世界に入り込んだものは、物理世界で処理するしかないようです。

もうすでに、闇の創造主によって取り込まれたものもありますので、これから起こってくる事を解決しながら、放たれた闇のエネルギーを片付けていくしかありません。

## PART3 レムリアの子供達のエネルギーを奪い続ける創造主

3月になるとセミナーの開催も増えてきました。

創造主とスターピープル達は、セミナーに参加する人のゲートを利用して、捕らわれたスピリットを取り戻しながら、闇に落ちた創造主のエネルギーを処理していくようになりました。

8日に行われたセミナーもそうでした。

私達は数日前から、頭痛や花粉症の症状がとてひどくなり生活や仕事に負担がかかっていたいました。

調べてみると、やはり闇の創造主達が、セミナーを行う事で、光の世界に向かう人が増える事を妨害するために、私達にサイキックアタックをしかけてきているようです。

私達は、自分達に送られてくるエネルギーを調べますが、ダークピープル達までは浮かび上がってくるのですが、その後ろ盾となっている闇の創造主がなかなか見つかりません。いくつもの次元をしらべるために、それに適応したピカフラッシュを送り込んだり、創造主の光を満たしたりしましたが、恵理さんの頭の中は真白くなり、私達に追跡を許さないようです。

しかし、しばらくすると1人の創造主の姿が浮かび上がってきました。

それは女性的なエネルギーをまとった存在ですが、邪悪な闇のエネルギーに満ち溢れています。

私は「闇の創造主を統治する創造主」にこの存在を知っているかと尋ねました。

「この創造主は正当に作られた創造主ではなく「闇とひとつになった創造主」が、勝手に作り出した創造主である事は間違いないようです。

たしか、自然気象を操り地震や火山噴火を引き起こす創造主のようです。」

「それならば、花粉症の影響を大きくする事もできるのですか。」

「それはできるかと思いますが・・・」創造主は私の質問に苦笑いをしています。

「本来の創造主でなければ、この創造主を光に返す事はできるはずですね。

この創造主によって本来起こる必要のない地震や津波が起こって多くの人達が犠牲になる可能性も大きいでしょうから、今のうちに処理しておいたほうがよさそうですね。」

「私達もそのようにしようと思っているのですが、この創造主は現実世界の人々と深く繋がっているために、光に返す事が出来ないのです。」

私は、彼女達の巧妙な手口の前に、しばらく沈黙してしまいました。

「それでは、この創造主の能力を抑える事はできますか。」

「わかりました、そのくらいの事はできるでしょう。」とって「闇の創造主を統治する創造主」は消えていきました。

その翌日の電話セミナーでの事。

セミナーを受けてくださっているAさんのスピリットを調べていると、一つのスピリットがスピリットの統合を拒んでいる事が分かりました。

そのスピリットは、私達に自分は今のままで  
は統合できない、やらなければならない事  
があるために、私達に手伝ってもらえないか、  
と伝えてきました。

これは何か大変な問題が隠されているよう  
です。

私達は、そのスピリットと共に過去にさかの  
ぼりました。

するとそこはレムリア文明の時代です。

このスピリットは、その時代にレムリアの神  
官の若き見習いとして生きていました。

神官達を訓練する学校で多くの仲間達と共  
に、楽しく学びをおこなっていたようです。  
しかしその頃はもうすでにアトランティス  
の侵略が各地で行われていた頃ですので、学  
校とはいえ安全ではありません。

そして彼が学んでいた学校にもアトランテ  
ィスの兵士達が突然現れ、多くの神官や神官  
見習いの子供達を捕えていきました。

Aさんのスピリットも捕えられ、仲間と共に  
アトランティスへと連れて行かれたのです。

そこで多くの神官達が拷問を受け、アトラン  
ティスの神官になり、アトランティスが戦い  
で勝利するように祈る事を求められました。  
そして神官見習いの子供達も洗脳を受け、ア  
トランティスの神官として活躍するように  
強制されました。

しかしすべての神官や神官見習いがアトラ  
ンティス側についたわけではありません。  
半数に満たない数ですが、アトランティスの  
神官になる事を拒み続け、抵抗を続けた者達  
もいました。

アトランティスの兵士達は、抵抗を続ける者を牢から引出し、他の神官達の前で虐待を行ってアトランティスの神々への生贄として殺していきました。

アトランティスに抵抗を続けた神官達も、その光景を見て、恐怖のあまりアトランティスの言いなりなる者も出てきました。

しかし、アトランティス側の神官になった者も、決して無事だったわけではありません。もともとレムリアの神官だった者達は、アトランティスの神々のために、その光や生命力をどんどん奪われていきました。

そして弱った者から生贄にされていったのです。

その光景はまさに地獄の様な有様です。レムリアから連れてこられた者は、生きていても死んでいても、そのスピリットを捕えられたまま苦痛の人生を味あわされたのです。

Aさんのスピリットは、その地獄から辛うじて抜け出して様々な人に助けを求めたのですが、闇の創造主達の手によってその場所は隠され、助ける事ができませんでした。

そのためにAさんのスピリットは残された仲間達を思い、自分だけが逃げ出した事に対して大きな罪の意識を感じていました。

Aさんはこのスピリットの影響で、自分を責める過去世をいくつも体験するようになったのです。

私達は、Aさんのスピリットの導きによりようやくその場所を見つけ出しました。

そして、光の創造主やスターピープル、大天使達の力を借りて、その場所に捕えられたままのスピリットを解放する事にしました。

スピリットの中には、恐怖のために身動きが出来ないスピリット達も沢山いました。

そしてここに閉じ込められていたスピリットの多くが地球以外の星から来たスターピープル達のスピリットでした。

このような施設は、アトランティスの各地にあり、そのすべてが「闇とひとつになった創造主」から生み出された創造主によって管理されていたのです。

しかし「闇とひとつになった創造主」が光に返された事により、彼が作り上げた仕組みも少しずつ明らかにされていきました。

「闇とひとつになった創造主」が最後に放った闇の力によって、残されていた闇の創造主達も力を増しましたが、彼が作った罫やスピリットを捕える仕組みそのものは明らかにされていきました。

「TAKESHI さん、昨日現れた「自然気象をコントロールする創造主」のエネルギーの源もここにありましたよ。

彼女達、闇の創造主は、人々を生贄として自分に捧げさせる事により、物理世界の人々と深いつながりを作っていたようです。

そしてレムリアの犠牲となった人々のスピリットの光を、闇の創造主達が活動する原動力にしていたようです。」

この場所が見つかり、彼らのエネルギーの源となった人々のスピリットも解放されたので「自然気象をコントロールする創造主」も光に返す事ができます。

これで、私達の体の症状も和らぎ、アセンションの活動に専念できます。

しかし、レムリアの神官達の苦しみを考えれば、花粉症の症状ごときで創造主に文句を言う私も情けないですよ。

## PART4 人々の潜在意識を操る場所

私達は、セミナーに参加してくれる様々な人のゲートやスピリットのつながりを通して「闇とひとつになった創造主」達が、この地球で行ってきた事を解決していく事をおこなっています。

次の話もセミナーで行った出来事です。セミナー参加者であるTさんのスピリットの状態を調べていた時に、統合できていないスピリットの一部がある事に気づき、そのスピリットを探し求めていると不思議な世界に迷い込みました。

そこでは多くの人々が規則正しく整列して、頭上にある大きなスクリーンを見えています。そのスクリーンには文字や絵が映し出されているようですが、その内容は分かりません。ただ整列している人々は、そのスクリーンを食い入るように見えています。

私はスターピープル達に、ここはどの様な場所なのか調べてもらう事にしました。しばらくするとロッド星人や太陽種族のフレッド達が戻ってきました。

「この世界には、私達はもう入れないので光40%台の世界のスターピープルや創造主に調べてもらったところ、この場所は、人々の潜在意識と深く繋がっている場所のようです。

今までこのような場所は無かったのですが突然現れて、光40%台の創造主も驚いているようです。

おそらく「闇とひとつになった創造主」によって隠されていた事は間違いないようです。」

私は、光 40%台の世界を統治する「闇の創造主を統治する創造主」を呼び出しました。「あなたはこの場所の存在や意味を知っていましたか。」

「いえ、私もこのような場所がある事さえも、気づいていませんでした。しかし、光 40%台の世界の人達の多くが、同じような考えを持ち、意識をコントロールされている事には、何か裏があるのではないかと感じていました。」

「この場所は、人々の潜在意識と深く関係があるようですが、この場所といつも恵理さんを攻撃してくる人々の潜在意識のエネルギーとは何か関係がありますか。」

「私も、その事に関してはまだよく分かりませんので調べてみたいと思います。」

「創造主よ、この場所には、まだ私達が見つけていない闇の創造主が隠れているのではないですか。」

「闇の創造主を統治する創造主」は少し困ったような顔をしています。

「ここに集まっている人は、自分達の意味で集まっているようにも見えますが、どうなのでしょう。」

「闇の創造主が関わっているかどうか、すぐに調べましょう。」

「闇の創造主を統治する創造主」には、まだこの施設の全容がつかめていないようです。私は意識を集中して、この施設を少し離れた場所から見えました。

するとこの施設から多くのエネルギーラインが出て異なる場所に繋がっている事が分かりました。



そのラインが繋がっている先には、別の世界があり、そこにも多くの人々のスピリットがあります。

別のラインも、それぞれ異なった世界に通じており、そこにも同じようにたくさんのスピリットがいます。

巨大スクリーンがある場所とそれぞれの世界の関係をしらべてみると、巨大スクリーンがある場所は、それぞれの世界の代表者達が集まっている場所である事が分かりました。各世界の代表者達（もしくは連絡係）が集まった場所で、巨大スクリーンに様々な指示が写し出され、代表者から彼の世界に属している多くのスピリット達にその指示が伝えられているようです。

これは光40%台に生きている人々の潜在意識を、この場所でコントロールしていくための施設だったのです。

このような仕組みがあったのでは、スターピープル達が、人々の感情を解放して意識の成長を計ろうと思っても無理なはずです。

彼らの潜在意識は全てコントロールを受けていたのです。

今回電話セミナーを受けてくださった方だけでなく、多くの人達の潜在意識がこの場所から送られてくる指示に大きな影響を受けています。

自分が本当にやりたい事や自分に合ったスタイルで生きていく事を、この画一化された潜在意識は邪魔をしています。

そして常識的な決まり決まったやり方で生きていくように人々の意識に働きかけているのです。

また私達に対しても、アセンションを邪魔するために、ここにいる人達を使って、怒りや憎しみ、依存心などのエネルギーを私達に送り、活動の妨害をおこなっていたのです。私達はこの場所を統治している闇の創造主を探し出します。

おそらく、「闇とひとつになった創造主」が作り出した創造主でしょうから、「闇とひとつになった創造主」が光に帰った今なら、捕まえる事は決して難しくはないでしょう。

しばらくしてから、「闇の創造主を統治する創造主」から連絡がありました。

「やはり TAKESHI さん達が言われたように、闇の創造主やダークピープル達がその後ろに隠れていましたので、この場所から分離しました。

そしてこの施設も光に返しました。

私もいくつもの星々を見てきましたが、このような方法で人々の意識をコントロールしていたのは、今まで私の記憶にありません。皆さんのおかげで、この仕組みを見つけて光に返す事が出来ました。

これから光 40%台の人達も、潜在意識をコントロールされる事なく、本来の学びの道にはいれると思います。

このままでは、光 40%台の世界は、意識進化をしない世界になるところでした。皆さん有り難うございます。」

この事は私達にとっても、大変意味がある事でした。

私達は、現実世界で繋がっている光 40%台の人から、自分達を助けてほしい、自分達に光を分けてほしい、というような思いを受けていたために、自分達の体調が悪くなって、

アセンションのための活動が邪魔されていたのです。

誰から送られているのか調べると、私達の知り合いもいますが、全く知らない人達からもたくさんのエネルギーがおくられてくるので不思議に思っていた所でした。

スターピープル達に、それらの思いからくるエネルギーの除去をお願いしても、「物理世界の事ですから、皆さんの守護がしっかりと出来ません。」と言われるばかりでした。

今回、この潜在意識を操る場所が見つかったおかげで、私達を常に襲っていた人々の潜在意識のエネルギーが意図的に作り出されていた事が分かりました。

それはこの巨大スクリーンに、私達にネガティブな感情を向けるような指示をだして、人々の潜在意識をわざと私達に向けさせていた結果だったのです。

この施設が無くなる事で、あえて私達に向かってくる潜在意識のエネルギーは少なくなってくるでしょう。

それだけでも、恵理さんは日ごろからの頭痛や腰痛、体調不良からも解放される事となります。

## 第3章 最高次元の創造主が 分離した闇

### PART1 私達を襲う闇のエネルギー

私達は、3月の初旬からエネルギーのおかしな変化に気付きました。

それは、自分自身が本来持っているネガティブな感情が、今迄よりも強く沸き起こり、その感情に振り回されているのです。

電話などでの遠隔セミナーを行なっても、ほとんどの参加者がネガティブな考え方にとらわれているのです。

自分は生きている価値がないと言ってみたり、自分の人生がうまくいかないのは、家族や友人のせいだと他人のせいにしたりします。

そして誰もが「愛」のエネルギーに深くつながる事を見失っているのです。

私達も、しばらくは体調がよくなっていたのですが、ここ数日また頭痛や鼻炎などがひどくなっています。

「煌めきの創造主」や「闇とひとつになった創造主」も、処理してしまったので、私達にサイキック攻撃を行ってくる創造主達はいないはずですが、まるで闇のボールをかけられたように、私達のまわりが重苦しく感じられるのです。

もしかしたら「闇とひとつになった創造主」以外にもまだ処理しなければならない創造主がいるのかもしれませんが。

私は、第8評議会の創造主を呼びだして事情を聴いてみました。

「TAKESHIさん、私達も詳しい事情が分からないのですが、第20評議会の創造主を中心として動きがあるようです。」

やはり第20評議会の創造主が何かを考えているようです。

私達は、直接第20評議会の創造主に何が起きているか聞いてみました。

「TAKESHIさん、今はまだはっきりと皆さんにお知らせする事が出来ないのですが、気を付けてください。

セミナーの時も、危険だと持ったらあまり踏み込まないでください。

後は、私がやりますから。」と答えてくれました。

創造主達が何を行っているのかは分かりませんが、今回は創造主達も緊張しているようです。

確かに、今まで闇の創造主達の大ボスとされていた「闇とひとつになった創造主」を捕まえた後ですから、もし闇の創造主が残っているとしたら、それ以上の大物という事になります。

私達も「闇とひとつになった創造主」以上に力を持っている闇の創造主の事は一切聞いていませんので、何が起きるか全く判らない状態です。

「大天使達の浄化と統合のセミナー」を行っていても、今まで以上のサイキックアタックが来るようになり、セミナーを行う事が大変になってきました。

特に妊娠している恵理さんのお腹に向けてサイキックなエネルギーが放たれているようです。

それはまるで、新しく生まれてくる子供の出産を妨げようとするかのようなエネルギーです。

私達は、大天使ミカエルを中心とした大天使達や明王達にお願いして、私達の守護を強くしてもらいますが、私達をおそうサイキックなエネルギーは、彼らの防御によって弱まったとはいえ消える事はありません。

私達がセミナーを行っている時も、セミナーを受けている人のネガティブな感情を利用して、サイキックアタックが行われてくる事もあります。

また、セミナーを受講してくださっている方のスピリットを救出するために、40%台の世界に関わろうとすると、ビジョンを見ている恵理さんにビジョンを見せない為の妨害エネルギーが送られてきます。

それは、地球の人々の多くを光40%台の世界にとどめておきたいために、ダークピープル達が私達の邪魔をしているのです。

セミナーが終了した後も、光40%前半の世界にいるダークピープルから警告のサイキックアタックが来ました。

「どうして、皆さんは光40%台の世界を荒らすのですか、

もうすでに世界は別たれていますので、皆さんは光40%台の世界に関わってはいけません。

もう私達の世界や私達の世界にいる人に干渉しないでください。」

確かに40%台のダークピープルが言っている事も一理あります。

すでに世界は別たれていまして、私達が光40%台の世界に入っていくと、エネルギーの違いから光40%台の世界では大きな混乱が起きるのです。

問題は、スピリットが光の世界に行く事を決めた人のスピリットの一部がまだ光40%台の世界に捉えられている事です。

スピリットの統合が無ければ、そのスピリット自体が光の多い世界に行く事が出来ないのです。

私達は、光40%の世界を乱さないようにスピリットの救出をしなければならないのですが、それは難しいようです。

そして、そのたびに光40%台のダークピープルからサイキックアタックをかけられても困ります。

私は、創造主に問いかけました。

「このままでは、私達が光40%台の世界に介入する事で、光40%の世界が混乱してしまいます。

かといって、光40%台の世界にとらわれたスピリットをそのままにしておく事もできません。

どうしたらよいのでしょうか。」

創造主が答えます。

「光40%台にあなた方が入り、40%台の世界が混乱したとしてもそれはすぐに収まりますので、気にせず行ってください。」

この返事を聞いて、やはり創造主は何かを隠している事に間違いのないようです。

## PART2 現れた闇の創造主

私達は、次の電話による遠隔セミナーでもサイキックアタックを受けてしまいました。

私達は、誰が私達にサイキックアタックをおこなっているか調べるために、そのエネルギーを追いかけていくと、光40%前半の世界に行きつきます。

私達が見つけた存在は、創造主でもなく、ダークピープルでもなく、ダークエンジェルと様々なエネルギーが入り混じった存在です。私は、スターピープルや創造主にこの存在は一体なにかと聞きました。

スターピープルはしばらく、この存在をしらべていました。

「TAKESHIさん、この存在は危険なようです。

創造主から、近寄らずに私達に任せてください、との連絡がありました。」

創造主達は、おそらくこの存在から、追い求めている創造主の居場所を割り出していくようです。

その次に行われた電話での遠隔セミナーで大きなエネルギーが襲ってきました。

そのエネルギーは、私達とセミナーの受講生を闇のエネルギーで包みます。

私達は、大天使ミカエル達を呼び「破邪の剣」のエネルギーをセミナーの受講者と私達に送ります。

大天使と明王達が集まってくれて、闇のエネルギーを除去しようとしてくれるのですが、今回のエネルギーは全くレベルが違います。



私達は、大きなしびれるようなエネルギーに包まれ、創造主やスターピープルとのコミュニケーションも取れなくなっていました。

そして恵理さんのお腹にもドーンという大きなエネルギーが送り込まれてきます。

私達は、電話セミナーを続ける事が出来ず、セミナーの相手に断って電話を切り、創造主やスターピープル達とのコミュニケーションを回復する事に集中しました。

1階の部屋にいた美輝も、不快なエネルギーを感じたのか大泣きしています。

しかしながら、私達とスターピープル、そして創造主との間の繋がりが経たれてしまったようです。

私達がいくら呼びかけても答えがありませんので、私達は「宇宙の愛の源」に繋がり祈り始めます。

恵理さんのお腹には妊娠したばかりの子供がいますから、これ以上のダメージが来ると子供の命に関わります。

私達には、何が起きているのか分かりませんが、一瞬にして私達と創造主、スターピープル達の繋がりを切る事ができるというのは相当力が強い創造主である事が分かります。私達の心の中に、第20評議会の創造主と同じような力を持った創造主がいるのではないかという、考えが浮かんできました。

「闇とひとつになった創造主」を闇の中に誘い込み、創造主大戦争を引き起こした本当の犯人がいるのではないのでしょうか。

このサイキックアタックが起き始めて、1時間以上たった頃から、私達の体の痛みは少しずつ減ってきました。

どうやら、サイキックアタックが止んできたようです。

私達と創造主のつながりも元に戻ってきました。

私はこの事情を説明できる創造主はいませんか、と呼びかけました。

すると「闇の創造主を統治する創造主」が来てくれました。

「TAKESHI さん、恵理さん大丈夫でしたか。」と創造主が尋ねました。

「私は大丈夫なのですが、恵理さんとお腹の子供にはだいぶダメージがあったようです。」

「やはりそうでしたか、私達も全力で防御をしていたのですが、完全に防ぐ事が出来なくて大変申し訳ありませんでした。」

「いや、それは仕方がない事なのですが、このサイキックアタックを仕掛けてきた存在はどのような存在なのか。」

これも、闇の創造主の仕業なのか。」

とはいうものの恵理さんへのダメージはとても大きく、後日、妊婦健診にいったとき、お腹の内部に内出血が出来ている事が分かりました。

妊娠への影響はあまりないようですが、お医者さんもお腹の内部に内出血が突然できていた事に驚いていたようです。

お腹の子供ともテレパシーで話したところ、稲光のようなエネルギーがいくつもお腹の中に落ちてきて逃げ回っていたようです。もし創造主達の防御が無ければ、そのダメージはお腹の子供の命を奪っていた事でしょう。

創造主やスターピープル達も、今回のエネルギーによって少なからず被害を受けたようです。

警戒はしていたものの、突然襲ってきた闇のエネルギーは、スピリチュアル・レベルではさらに大きく破壊的なエネルギーだったようです。

### PART3 巨大な闇のエネルギーの正体

私は「闇の創造主を統治する創造主」に、このエネルギーの正体について尋ねました。

「闇の創造主を統治する創造主」はすこしためらいがちに話し始めました。

「今回、皆さんを襲った闇のエネルギーは、かつて第20評議会の創造主から分離された闇のエネルギーなのです。

これは、私達の宇宙でも最大の秘密なのですが、創造主大戦争が起こるはるかな昔、第20評議会の創造主がまだ若かった頃、彼は自分の中にある闇のエネルギーを自ら切り離してしまいました。

自分が行う創造にとって不都合と感じたのでしょう、自分の闇の部分から自分から分離して光のみの創造主になる事を望んだようです。」

「第20評議会の創造主から分離された闇はその後どうなったのですか。」

「第20評議会の創造主は、その闇のエネルギーを封印するつもりだったようです。

ところが、分離された闇のエネルギーは、急速に拡大し、第20評議会の創造主から封印されるどころか、自らの力を大きくして創造主としての意思を持ってしまったのです。

その後、創造主となった闇のエネルギーはも  
とからある闇と一体となってしまう、第 20  
評議会の創造主をはじめ光の創造主の前か  
ら姿を消してしまっただけです。

現在でこそ第 20 評議会の創造主となっ  
ていますが、その頃はまだ今ほどの力を持っ  
ていなかった創造主は、闇と一体化した自分の  
分身を捉える事が出来ず放置してしまっ  
たのです。」

「それが問題の始まりだったのですね。  
その闇と一体化した第 20 評議会の創造主  
の分身の影響で、創造主大戦争も起きたの  
ですか。」

「創造主戦争の原因はそれだけではないの  
ですが、第 20 評議会の創造主から分離され  
た闇のエネルギーは、自分が見捨てられたと  
思い、第 20 評議会の創造主を恨むようにな  
ってしまったようです。  
そして、創造主達を闇の世界に引き込んだり、  
光が多い宇宙に闇のエネルギーを送り込み、  
その宇宙を混乱させる事を行っていました。」

「「闇の創造主を統治する創造主」よ、それ  
は大変深い問題ですね。

第 20 評議会の創造主から分離された闇の  
エネルギーが、自分を見捨てた創造主に復讐  
するのは、起こり得る事ですからね。

それで、この闇のエネルギーから生まれた創  
造主はどこまで力を伸ばしていったのです  
か。」

「それは現在調査中ですが、闇のエネルギー  
から生まれた創造主は、第 20 評議会の創造  
主に復讐するために、私達の評議会と同じよ  
うな仕組みを作り出し、そこに多くの闇の創

造主を招き入れたり作り出したりしたよう  
です。

「闇とひとつになった創造主」や「煌めきの  
創造主」「闇をコントロールする創造主」な  
どもこの闇の評議会に属する創造主だった  
ようです。」

「それでは、この「闇のエネルギーから生ま  
れた創造主」は、初めから第 20 評議会の創  
造主が行う事を邪魔する為に、闇の創造主を  
次々と私達の宇宙に放って行ったという事  
ですか。」

「そうです、「闇のエネルギーから生まれた  
創造主」は皆さんの宇宙だけでなく他の宇宙  
にも闇の創造主やダークピープル達を数多  
く放ち、宇宙を混乱させていました。

私は、第 21 評議会の創造主に頼まれて「闇  
のエネルギーから生まれた創造主」が行った  
事の後始末をする為に、いくつかの宇宙に派  
遣されていったのです。

それも第 20 評議会の創造主にわからない  
ように処理を行っていました。」

「第 20 評議会の創造主にわからないよう  
に処理を行っていたのはなぜですか。」

「それは、「闇のエネルギーから生まれた創  
造主」自体の処理を含め、彼が行った事の後  
始末は、本来第 20 評議会の創造主が全て行  
わなければならないのですが、「闇のエネル  
ギーから生まれた創造主」の行いは物理世界  
にもかなり関わっているのです、第 20 評議  
会の創造主では処理できない事も多くある  
からです。

しかし、第 21 評議会の創造主は、最終的には第 20 評議会の創造主が、自分の責任でこの事を解決するように言い渡しているのです、第 20 評議会の創造主は、期限までに「闇のエネルギーから生まれた創造主」を処理しなければなりません。」

私は「煌めきの創造主」が光に帰って行った時、第 21 評議会の創造主が私の前に現れて、私達の宇宙の創造主は期限までに大切な問題を解決しなければならない、と言っていた事を思い出しました。

その時は、「闇とひとつになった創造主」を適切な形で処理する事だと思っていたのですが、問題はもっと深いところにあったようです。

「第 20 評議会の創造主はどの様にして、「闇のエネルギーから生まれた創造主」を処理するのですか。」と私は「闇の創造主を統治する創造主」に聞きました。

「それは、「闇のエネルギーから生まれた創造主」と第 20 評議会の創造主が一つに統合されなくてはならないのです。

第 20 評議会の創造主は、自分自身から分離した闇のエネルギーをもう一度彼の中に戻して一つにならなくてははいけません。」

「闇のエネルギーから生まれた創造主」は、それを望んでいるのですか。」

「いいえ、「闇のエネルギーから生まれた創造主」はもうすでに創造主としての意思と力をもっています。

第 20 評議会の創造主とひとつになれば、そのすべてを失う事になりますので、第 20 評

議会の創造主の前から姿を消して見つからないようにしています。

そして次々と部下を地球に派遣して、TAKESHIさん達の動きを封じ、TAKESHIさんと第20評議会の創造主の繋がりを切ろうとしているのです。

第20評議会の創造主は、TAKESHIさん達がいないと、物理世界を見る事が出来ないの  
で隠れとおせると考えたのです。」

「それで私達に、執拗なまでにサイキックア  
タックをかけてきたのですね。

それで、「闇のエネルギーから生まれた創造  
主」を捕まえる事はできたのですか。」

私の問いに「闇の創造主を統治する創造主」  
はうなずいて答えます。

「ようやく、「闇のエネルギーから生まれた  
創造主」を見つけ出し、第20評議会の創造  
主が、エネルギーを一つに統合しようと奮闘  
しています。」

確かに第20評議会の創造主の様子を見ると  
光と闇のエネルギーが混ざり合い混沌と  
した状態になっています。

このクラスの創造主のエネルギーが混とん  
とした状態になると、全ての評議会の創造主  
にも影響があるかもしれません。

「TAKESHIさんがお考えのように、一番上  
位の創造主のエネルギーの変化は全ての評  
議会の創造主やスターピープル達に大きな  
影響を与えます。

第20評議会の創造主が統合しようとして  
いる「闇のエネルギーから生まれた創造主」  
のエネルギーが、全ての評議会の創造主にも  
流れ込んでいきますので、全ての創造主達は、

自分自身も混とんとしたエネルギーに包まれる事になります。

創造主達は、1人1人が自分の体の中に流れ込んだ闇のエネルギーを統合しなくては行けないのです。」

これは大変な事になったようです。

まるですべての創造主達が泥沼の中に突き落とされ、闇のエネルギーまみれになってしまったようです。

「それは私達が住む物理世界にも影響がありますか。」私は恐る恐る聞きました。

「もちろん、その影響は大きいでしょうね。光が多い地球にも、創造主を通して闇のエネルギーが流れ込んできますので、一時的に光の度合いが低くなります。」

「すると光50%以上の世界でも光40%台の世界のようになるという事ですか。」

「これは一時的な事ですので、しばらくすると元に戻りますから心配はいりません。」

「闇の創造主を統治する創造主」は、私を元気づけるように明るく答えます。

「でも、せっかくスピリットを取り戻したのに、また光40%台の世界に近づく事で、またスピリットを取られたり、闇の多い世界に引きずり込まれる人が出てこないでしょうか。」

「そこは、「愛で統合された宇宙」の創造主やスターピープル達が守護する事になっていますので安心してください。

皆さんが、しっかりとした気持ちを持っていれば大丈夫です。

いくつもの世界に分離した人達がまたごちゃ混ぜになる事はありません。」



「それはよかった。  
それでこの状態はいつごろ終わるのですか。」  
「おそらく3月中には、第20評議会の創造主の統合も終わり、物理世界も綺麗になると  
思います。」  
私達の長い会話が終わると「闇の創造主を統治する創造主」は消えていきました。

## 第4章 闇のエネルギーから 生まれた創造主達

### PART1 人々のスピリットを捉える創造主

第20評議会の創造主と「闇のエネルギーから生まれた創造主」の統合はまだ終わらないようです。

「闇のエネルギーから生まれた創造主」が作り上げた闇の評議会も明らかにされ、そこに属していた闇の創造主も次々と光に返されていきましたが、私達の宇宙の創造主達の目を盗んで逃げ隠れしている創造主達もまだいるようです。

「闇のエネルギーから生まれた創造主」が捕まった仕返しに、私達にサイキックアタックを仕掛けてくる創造主やダークピープル達も少なからずいますので、その都度捕まえては光に返したり分離したりしていきます。ただ、私達の宇宙にも、大きな闇のエネルギーが流れ込んできていますので、物理世界に生きる地球人の体調や感情も不安定になっている事は間違いないようです。

ある方の電話セミナーの時の話です。  
その日は、仕事をしていても腰が痛かったりして調子がよくありません。  
恵理さんも、お昼から頭痛がしているようで買い物にも行けなかったようです。

私の腰が痛いときは、私のシェンロンであるエルエルに問題が起きている時が良くあります。

恵理さんにエルエルの様子を見てもらおうと、何か変なエネルギーに巻き込まれたのか、全身傷だらけです。

調べてみると、どうやら次元の狭間の混乱したエネルギーにつかまったようです。

現在、第20評議会の創造主が、自分から切り離れた闇のエネルギーを自分と統合しようとして一生懸命に努力している最中ですので、全評議会に大きな闇のエネルギーが流れ込んできています。

その結果、このようなエネルギーや次元の変化が起きても不思議ではないのですが、少し気になります。

「闇の創造主を統治する創造主」にも手伝ってもらい、次元の歪みを調べてもらいます。

「TAKESHIさん、この次元の歪みは、光40%台の世界と光50%以上の世界の間を繋いでいます。

そしてこれは意図的に作られた裂け目のようです。」

私は急いでピカフラッシュに頼んで、誰がこの次元の裂け目を作ったのか調べてもらいました。

すると、恵理さんの心に一人の闇の創造主の姿が映ってきました。

「「闇の創造主を統治する創造主」よ、この存在の事はご存知ですか。」私は尋ねました。

「闇の創造主を統治する創造主」はしばらく、この存在を調べています。

「私は、この存在の事を知りませんが、「闇のエネルギーから生まれた創造主」が作り出した存在に間違いのないようです。

彼は、光 40%の世界と光 50%以上の世界に裂け目を作り、そこから光 50%以上の世界の人々を捉えて、光 40%台の世界に連れ込もうとしているようです。」

この存在は創造主ではないようですが、私達の宇宙の秩序ともいえる次元の壁を自由に壊したりつないだりできるようです。

最近、物理世界に降りてくるエネルギーもかなり不安定になっていますので、人々の感情がとても不安定になっています。

他人に対してだけでなく自分に対しても、憎しみや怒りの気持ちを持つ人達が増えていて、この地球にネガティブな感情が充満しているようです。

そのようなエネルギーを利用して次元の壁に裂け目を作り、人々を光 40%台前半の世界に引き込んでいるようです。

私達はこの存在を光に返す事にしました。

また、その直後に行われたセミナーでは、その次元の裂け目を通して、セミナー参加者に影響を与えているエネルギーを見つけました。

それは、光 40%台前半の世界につながっており、そこには赤紫色のピラミッドの様な物体、あるいは大きな球体のようなものが浮かんでおり、その中には多くの方のスピリットが捕えられています。

あるいは、自ら望んでその場所にいる人達も多いようです。

光 40%台のスターピープル達にこの場所の事をしらべてもらおうと、その場所にいる人達は、ヒーリングやカード占い、スピリチュアルな活動をしている人達のスピリットのよ

うです。

その場所を良く調べると、その場所を取り仕切っているダークピープルの後ろに、「闇から生まれた創造主」によって作り出された創造主が隠れています。

その創造主は、まるで神話のなかにててくるメデューサのような姿をした創造主です。頭から数匹の蛇が首をもたげ、恐ろしい形相で睨んでいます。

この創造主は「人を欺く創造主」と呼ばれている創造主のようで、宗教やヒーリングやスピリチュアルな活動などに従事する人達に、ヒーリング力や霊視力、人々の意思を操作する能力などの特別な力を与えたり、人を引き付け、お金儲けをするパワーなどを与えている創造主です。

しかし、この創造主から特別な能力やパワーを与えてもらおうと、その代償として、自分達の生命力や光を奪われる事になるようです。彼らの活動は今までの地球では、日常におこなわれてきましたが、この創造主は、自分が与えた能力やパワーの代わりに、その人から生命力や光をもらう事を隠し、人々を欺いていました。

今までは、「闇から生まれた創造主」の力によって隠されていたようですが、「闇から生まれた創造主」と第20評議会の創造主が統合された事により、「闇から生まれた創造主」が力を失い、彼らの姿が浮かび上がってきたのです。

私は、この場所を支配する創造主を光に返して、ここに捕らわれたスピリットを開放したいと「闇の創造主を統治する創造主」に言い

ましたが、「闇の創造主を統治する創造主」は難しそうな顔をしています。

「TAKESHI さん、私もそうしたいのですが、状況はそれほど簡単ではないようです。ここにいる人達は、この創造主から力をもらって、自分の特殊な能力を目覚めさせているのです。

その能力によって、彼らは多くの賞賛と利益を得ていますので、彼らはこの創造主の事を手放そうとしないでしょう。この創造主も、たとえ正当な創造主ではないにしても、多くの地球人に必要とされているので、光に返す事ができないのです。」

「しかし、この創造主は地球人に対して、ヒーリング能力やスピリチュアルな能力を与える代わりに、その人のスピリットを支配したり生命エネルギーを奪う事を、人々に説明していないはずです。これは正当な契約とは言えないので、この「人を欺く創造主」が行なっている事は不当な事だと思えます。」

「確かにそうなのですが、」「闇の創造主を統治する創造主」も困っているようです。

私は、この「人を欺く創造主」の処理を第 20 評議会の創造主に尋ねる事にしました。闇のエネルギーと統合を行なっている最中の第 20 評議会の創造主が出てきてくれました。

第 20 評議会の創造主は、この場所を支配し人々のスピリットを捕えている創造主と話をしています。その様子を見ながら「闇の創造主を統治する

創造主」が私に言いました。

「ここは光40%前半の世界なので今までの地球と同じように、人をだましたり、だまされたりという事が認められている世界ですので、この創造主やダークピープルが行なっている事は許される事なのです。

これが、光が多い世界ならば、彼等がやっている事は許されないのですが、ここでは、当然の事なのです。」

確かに今までの地球は、法律に違反しなければ、なんでもできる世界でしたので、彼らが行なっている事も当たり前なのかもしれません。

私達が会話をしている間に、第20評議会の創造主が戻ってきました。

「創造主よ、どうでしたか。」と私は、第20評議会の創造主に声をかけました。

「TAKESHIさん、恵理さん、この創造主と話をして分かったのは、地球の人達が、この創造主の力を欲しているという事です。

今までの自分にはないヒーリング能力や霊視能力、そしてスピリチュアルな能力などを得る事ができれば、その力のもとが闇の創造主であれ、ダークピープルであれ、かまわないという考え方を持っているようです。

闇の創造主やダークピープルから、彼らを解放したとしても、またすぐに同じような力をくれる存在に人々は依存してしまうでしょう。

しかし、人々は特殊な力が得られる代わりに、自分達の生命力や光が奪われているという事は知らないようでしたので、この創造主とダークピープルに、全ての人に対してこの事をはっきりと明示するようにと伝えました。

そして、明示したにも関わらず多くの人々がこの創造主についていくようならば、この闇の創造主を、光 40% 台の正当な創造主として認めましょう、と伝えました。」

「それで闇の創造主は何と答えましたか。」  
「闇の創造主はしばらく考え込んでいましたが、私の言う事を実現しなければ、光に返されるという事は分かり切っていますので、必ず実行するでしょう。」

あとは、この事を明らかにした後、この創造主のもとから、ほとんどの地球人が立ち去ったなら、この創造主を光に返す事ができます。」

しかし、地球人がこの創造主を選んだなら、彼は正当な創造主として、今迄のようにこの世界で活躍する事ができます。

大切な事は、地球の人々の意思なのです。」

私は、ここにいる人々の多くがこの場所に残るような気がします。

今の地球人は、たくさんお金を稼ぐ事や有名人でいる事、人よりも優れた存在である事を欲していますので、仕方がないかもしれません。

しかし、この場所から解放されたいと願っている人達の解放はできそうです。

今回の受講者のスピリットも、その場所の中に閉じ込められているのを発見する事が出来ました。

それは、受講者の方が持っているタロットカードなどを通して、彼女のスピリットがここに閉じ込められていたようです。

彼女は、10 数種類のタロットカードを持っていました。



そのすべてを使用している訳ではないのですが、いつの間にか増えてしまったようです。

恵理さんは彼女のスピリットを救済するために、タロットカードと受講者のつながりを断ち切る必要がある事を、受講者に伝える事にしたようです。

タロットカードを手に持って、その中に込められた自分の思いをタロットカードから引きはなし、タロットカードを始末するように受講者に伝えました。

そうしなければ、彼女のスピリットを、この場所から救い出す事はできないからです。

受講者の方は、真剣な気持ちでタロットカードに残された自分のエネルギーをタロットカードから取り除いています。

きっと彼女のスピリットは、この創造主のもとを離れ、彼女自身のもとに戻ってくる事でしょう。

その後、この創造主は、人々のスピリットや光をとらえるための罫をいくつも仕掛けていた事が分かりました。

そしてその中には、まだ小さな子供達のスピリットを捕えている場所もありました。

これは親や家族の人達が、ヒーリングやスピリチュアルな活動にかかわっていたために、その子供達のスピリットも同時に捕えていたようです。

子供達はまだ自分の意思をしっかりと持っていないので、子供達のスピリットを捕える事は、創造主としては完全なルール違反となります。

第20評議会の創造主は、この「メデューサのような創造主」がそのような事をしていた事が分かった時点で、この創造主を光に返

す事にしました。

私達は、このようにセミナーを通じて第20評議会の創造主から分離された闇が生み出した多くの闇の創造主を見つけだし処理していきました。

第20評議会の創造主は、自分が分離した闇と再統合を行なうだけでなく、この闇が生み出した闇の創造主やダークピープルなどを処理していく事を上の評議会の創造主から義務づけられているのです。

しかも、その期限は刻一刻と近づいてきていますので、私達が行なうセミナーの受講者のゲートを使い、物理世界に隠れた闇の創造主を必死で見つけだそうとしています。

## PART2 「愛を奪う創造主」

私達は、鹿児島で行われたセミナーの中で、また大きな闇を持つ創造主に出くわしました。

この頃になると、私達が行うセミナーによって、闇の創造主達が見つけ出されてくる事が分かってきたので、闇の創造主達も必死でセミナーを妨害してきます。

特に恵理さんや恵理さんのお腹にいる子供達に対してサイキックアタックをかけてくる事が増えてきました。

しかし、第20評議会の創造主が言うには、あと3人の闇の創造主が暗躍しているようなので、それは何としても捕まえなければなりません。

この日出てきたのは、「愛を奪う創造主」でした。

参加者の方は、非常に愛情深い方でしたが、いつの時代でも、自分を犠牲にして人に奉仕する事を行ってきたようでした。

愛情深いために、困っている人を見捨てる事が出来ず、ついお世話をしてしまうのです。しかし、その事があだになって、結婚した人から精神的肉体的な暴力を受け続ける事になってしまったのです。

私達は、彼女が持つゲートから、彼女のスピリットを捉えている存在を見つけ出しました。

そこにいたのは、この物理世界では大変な力をもっている創造主のようです。

この創造主は多くのダークピープルを使い、人々の愛のスピリットを奪い取っていました。

しかも、この「愛を奪う創造主」のゲートを開いて、スピリットが捉えられている場所をみて、多くのスターピープル達が驚きました。通常は肉体をもっている人々のスピリットが捉えられている事が多いのですが、ここには肉体をもっていないスピリットだけのスターピープル達の一部も捉えられていたのです。

それも、第1評議会のスターピープル達の多くがこの場所に「愛のスピリット」を捕えられていたのです。

第1評議会のスターピープル達は、その事に気付かずいたので、本来の力を十分に発揮できないでいたようです。

この場所の秘密が明らかにされると、多くのスターピープルと天使達がやってきて、捕えられたスピリットや奪われた自分達の「愛のスピリット」を取り戻しに来ました。

「TAKESHIさん、この場所を私達はずっと探していたのです。

それは地球だけでなく、他の星々を担当しているスターピープル達からも、自分達の愛の部分が奪われている事に対する報告がいくつか出てきていますので、私達もおかしいな、と持っていたのです。」とエレナさんがいきました。

「この創造主は地球だけでなく、天の川銀河全体や他の銀河でも、同じような事をしていたのですね。

私達の愛のスピリットも捕らわれていませんか。」

「もちろん皆さんの愛の部分もこの場所にとらわれていました。」

「ロッド星人、あなたの愛の部分は無事でしたか。」

私の問いに、ロッド星人は恥ずかしそうに苦笑いをしています。

きっと彼らの愛のスピリットもこの場所にとらわれていたようです。

「しかし、どのような方法でこれほどたくさんの愛のスピリットを集めたのでしょうか。」

私の問いにアシュタールのエレナさんが答えます。

「ここにいるダークピープルが、スターピープルを装って、この星に愛が必要だから手助けに来てくれるようスターピープル達に以来していたようです。

スターピープルの中でも愛情深いスターピープルはそのような訴えがあると、すぐに助けに行きますので、その場所に罠をはっていた「愛を奪う創造主」に、気づかないうちに

「愛」の部分だけを抜き取られていったようです。

彼らは、その事を非常に巧妙に行いますので、スターピープルや光の創造主には見つからなかったようです。」

私達は、セミナーの受講者の体に、どす黒い龍のような存在が巻き付いて、彼女の自由を奪っていた事を思い出しました。

「おそらく、そのどす黒い龍は、いつまでも彼女に取り付いて、彼女の愛を奪い続ける存在のようです。

ある意味、この「愛を奪う創造主」が生み出したエネルギーかもしれません。

愛を欲しがっている人々が、愛をたくさん持っている人を見かけると、このどす黒い龍をその人に巻きつかせ、自分の思うとおりに支配しようとしているようです。」

私達は、今回のセミナーの中で、このどす黒い龍と対峙する事になりましたが、この龍のエネルギーを送っている人の感情や欲望と一体となっているので、すさまじいエネルギーを放っています。

そして、参加者の意識レベルまで支配しているので、たとえ一度切り離れたとしても、それで彼女が完全に解放されるかどうかは、彼女の意思次第です。

この「愛を奪う創造主」の事を、第20評議会の創造主にも報告しました。

第20評議会の創造主も、この闇の創造主の事を大変気にしていたようです。

「愛を奪う創造主」が行った事を徹底的に調べるために、この創造主を引き取っていきました。

### PART3 「地下組織を産み出す創造主」

セミナーの翌日、私達は地球のエネルギーがとても変化した事に気付きました。

それは、第1評議会、第2評議会のスターピープル達の多くが、愛のエネルギーを取り戻した事で、地球のみならず私達の宇宙の波動がとても良くなったからです。

恵理さんの気分もだいぶ軽やかです。

しかしながら、私達が受けたサイキックアタックの影響は、思ったよりも深刻でした。

セミナーの翌日、恵理さんは妊婦健診を受けたのですが、子供の状態があまり良くありません。

新しい子供は、地球や宇宙のドラゴン達と共に、地球のエネルギーを浄化しバランスを取るために、物理世界に生まれてくる事になっています。

お腹の中にいる今でも、スピリット体として、地球のエネルギーの浄化を行なっていますが、地球の人々を目覚めさせたくないダークピープルや闇の創造主が、恵理さんと「龍治」にサイキックアタックをかけてきたようです。

私達は、胎児の安全のためにしばらくセミナーや恵理さんのセッションをお休みする事にしました。

ダークピープル達は、セミナーやセッションを受ける人達のネガティブな感情や依存心などを利用して、恵理さんにサイキックなアタックをかけてくる事が多いからです。

そのかわり、私達は2人で第20評議会の創造主が言っていた残りの創造主を探し出す事にしました。

今はもう、第20評議会の創造主は自分から切り離れた闇との統合がだいぶできてきたので、大きな闇を持った創造主は隠れる事が困難になってきています。

しかも、昨日捕まえた「愛を奪う創造主」によって捉えられていたスターピープル達の愛の部分が戻ってきているので、スターピープル達も以前に比べて、はるかに力強くパワフルになっています。

私達は、各評議会の創造主達とスターピープルを呼び出して準備をおこなうと、瞑想状態になり、私の意識をこの地球上に拡散していきます。

創造主やスターピープル達は、私が地球上に拡散した意識の中を探しています。

しばらくすると、1人の闇の創造主が見つかりました。

この創造主は、昨日捕まえた「人を欺く創造主」に指令を出していた創造主のようです。

「人を欺く創造主」は、同じようなタイプの創造主が数名いて、様々なヒーリングや宗教などに関わっているようです。

それらの創造主を産み出した創造主が、今見つかった創造主のようです。

すぐに第20評議会の創造主が出てきてこの創造主を連れて行きました。

おそらく、この「人を欺く創造主を作り出した創造主」を徹底的にしらべて、彼がどれほどの「人を欺く創造主」を生みだしたのか、どのようなシステムをつくっていたのか明らかにする事でしょう。

そうする事で、光 40%台の世界は仕方がないとしても、光 50%台の世界には、「人を欺く創造主」が入り込めないようにしなくてはなりません。

私達は次の創造主を探し出す事にしました。私の意識は、人々の深い闇の意識の中を下っていきます。

私の意識の中に出てきたのは、まるで中国マフィアの本拠地のような場所です。

顔や体に傷や入れ墨を持つ人達が銃をもって歩き回っています。

ここでは銃や覚せい剤などの秘密取引が行われているようです。

ここは、人間社会にとってもとてもディープな場所です。

そのような場所に、闇の創造主が隠れている事は考えられる事ですが、私達はこのような世界と関わりを持つ人達が周りにいなかったために、今まで見逃していたようです。

この世界に隠れている闇の創造主は、このような組織に関わる人々の潜在意識を利用して、地下組織をコントロールしていた可能性があります。

そしてこのような組織に関わる人々も権力や力、お金などを欲していますので、自らダークピープルと一体化して、女性や子供達のみならず男性達に対しても抑圧と支配を行っていたのでしょう。

私達は、光 40%台のスターピープルにもお願いして、この場所にいる人達のエネルギーをたどって闇の創造主を探します。

すると、さらに深い闇の中に一人の創造主が目をらんらんと輝かせていました。



私達も、その目の輝きには狂気じみた恐怖を覚えます。

この闇の創造主には、愛や理性のひとかけらも感じる事ができません。

ただあるのは、渾沌とした恐怖と人々の心を引きずり込むような強力な吸引力です。

それはまるで、船を呑み込むような海にできた渦のような力です。

私達はこの創造主と接しているだけでも吐き気がしそうです。

私達はすぐに第20評議会の創造主を呼び出して、この闇の創造主を捉えてもらいました。

このような地下組織やマフィア達を操るだけあってとても凶暴な性格のような気がしますので、他の創造主が下手に手を出してしまっては危険です。

皆さんは創造主というととても優れた能力をもっている存在、愛と叡智に満ち溢れた存在だと思うかもしれませんが、中にはこのように凶暴で支配的、強欲な性格をした創造主もいるのです。

彼らが作る世界は、創造主の性格を反映して作られるため、非常に争いが多い殺伐とした世界になってしまいます。

今までの地球は、光の創造主よりも闇の創造主が多く関わってきた為に、闇が多い地球となってしまいました。

その為に、たえず争いや略奪が起こり、宗教や人種、そして国家レベルで大きな衝突が存在していました。

特にこのようなマフィアなどの地下組織には、一般の常識などは通じません。

自分のために他人を犠牲にする事等、何とも思っていない世界ですので、それだけ闇が深い創造主が関わっていると言えるでしょう。闇が多い創造主は、自分のエゴを満足させるために、人間をコントロールして自分がやりたい事をやっているのです。

私達は、この場所に君臨している闇の創造主を「地下組織を産み出す創造主」と名付けましたが、「地下組織」は世界中に有りますので、彼等の仲間がまだいるかもしれません。私達は、この創造主のエネルギーを使って、同じような創造主がいないか、地球のあらゆる場所を探してみました。

すると、アメリカや中南米、ヨーロッパ、ロシアなど世界各地から同じようなエネルギーを持った闇の創造主達が浮かび上がってきました。

どうやら、私達が捕まえた「地下組織を産み出す創造主」と同じような創造主が世界各地の地下組織の中に幾人も隠れていたようです。

そしてお互いの地下組織を争わせて楽しんでいたようです。

となると、この「地下組織を産み出す創造主」を生みだした創造主がどこかにいると思われるます。

その創造主が自分の分身をたくさん作り、世界各地に配置して地下組織を作り上げていたのでしょう。

私達は「第 20 評議会の創造主」にも協力してもらい、「地下組織を産み出す創造主」のエネルギーを辿り、いくつもの世界をしらべます。

でも内心では、「地下組織を産み出す創造主」を作り出した創造主が突然どこからか襲っ

てきたらどうしようと、びくびくしながら探しました。

暫くすると、この地球の物理次元とは少し異なる場所に「地下組織を産み出す創造主」のボスが隠れているのを発見しました。

その創造主は、「地下組織を産み出す創造主」と同じように人を引きずり込むような闇のエネルギーを沢山持っている創造主でしたが、年老いているせいか、あまり元気がないようです。

私達は、内心ほっとして、「第20評議会の創造主」にこの創造主を引き取ってもらいました。

私は、「闇の創造主を統治する創造主」に何が起きていたのか聞いてみました。

「おそらく、この創造主はいくつもの分身を作り、地球上でお互いを争わせていたようですが、その争いが「地下組織を産み出す創造主」だけでなく、このボスにも影響して力を失わせていたようです。

要するにお互いが争い合う事に疲れてしまったのでしょう。」

なるほど、確かにいくら闇の創造主といえでも、お互いが争い合っただけでは、力も弱くなってしまう事でしょう。

私達は、これで「第20評議会の創造主」が探していた創造主を全て見つける事ができました。

後は「第20評議会の創造主」が、彼らをしらべ処理してくれる事でしょう。

物理世界においても、光50%台に影響を及ぼしそうな「闇の創造主」は、これでほとんどいなくなる事になります。

ただ、それほど力を持っていない「闇の創造主」や創造主から力をもらって強力なパワーを得たダークピープル達がまだ残っていますので、まだまだ安心はできません。いくつも小さな小競り合いがこれからもしばらく続きます。

## PART4 光 40%台の世界のルール

私達は、闇のエネルギーから生まれてきた創造主達を見つけ出すと「第20評議会の創造主」に引き取ってもらい、私達の光の地球から引き離してもらいます。

光が多い地球では、彼らはもうすでに存在しなくなりましたので、彼らに従うダークピープルや彼らが作った人々を陥れる罠はやがて消えていく事になるでしょう。

光 40%台の世界では、闇のエネルギーから生まれた創造主の存在自体は、消えていっているようですが、彼らを模倣した闇の創造主達や彼らによって力を増したダークピープル達はまだまだたくさん残っています。

3月後半から4月にかけて、物理世界では、まだ光 40%台の世界にいる人々と接していますので、そのような人々を通して、ダークピープル達が、私達にサイキックアタックをかけてきます。

彼らは、自分達を支えてくれた闇の創造主を失ったのは、私達のせいだと思っているようです。

そして、自分達が捉えているスターピープルや光が多い人々を私達が解放していくもの

ですから、何かと私達の邪魔を行おうとしています。

特に「大天使による統合と浄化のセミナー」の前後には、すさまじいサイキックアタックが来るので、私達も大変です。

しかし、これも難しい問題があります。それは、いまでも光40%台のダークピープル達のもとに捕らわれているスピリットを持つ多くの人々は、自ら同意してダークピープル達のもとにいる事が多いのです。

つまり、ダークピープルのもとにいると特殊なヒーリング能力や予知能力、カリスマ的な魅力、人をコントロールする能力やパワー、政治や経済的な成功を収めるための能力や人間関係などがダークピープルによって与えられるので、その力を使って成功している人が多いのです。

そのような人達は、それらの能力がダークピープルによって与えられているとは思わず、自分の努力に対する当然の結果だと思っています。

なかには、それがダークピープルによるものだとは分かっている、「悪魔の契約」をする事で、あえてその力を手に入れたいと思っている人もいます。

そのような契約の裏には、自分の魂やスピリットをダークピープルやダークエンジェル達にうりわたし、長い間、彼らに使えなければならない契約もありますが、人間はその事を全く気にせず契約してしまうのです。

また、力を持った人やカリスマ的な人に依存してしまう人も同じです。

自分で考える事や行動する事がめんどくさいので、力を持ったヒーラーや占い師、政治・経済界の有力者達に頼ってしまいます。依存してしまう人は、相手に対してお金だけでなく、自分の生命力や未来の希望まで渡してしまいます。

そして、どんどん無気力な人間になってしまうのです。

私達は、そのような人達が捕らわれた場所を、セミナーやアチューメントを通して探しだし、セミナーの受講者だけでなく多くの人の魂やスピリットを解放しようとするのですが、私達の話しに納得して、捕らわれている場所から出ていこうとする人達は、本当にわずかです。

残り的人達は、今の自分の現状に満足しているのでしょう、自分達に与えられた力や環境を手放したくない為に、捕らわれた世界から出ていこうとしません。

ダークピープル達にすれば、この場所にいる人々は、自分達を求めているし自分達が与えた力や能力を使って仕事をしているので、ここにいるのは当然の事なのだと言います。そして、お互いが合意したうえで作られている関係性を壊し、自分達の邪魔をしているのは、私達のほうだから、自分達の邪魔をせずに早く出て行ってくれと、言います。

確かにそうなのです。

私達が、彼らの世界に入る事によって、その世界とは不釣り合いなエネルギーが入ってきますので、彼らの世界を混乱させてしまう事は十分にあり得る事なのです。

また、このような事は光 40%台の世界では当然の事ですし、この世界にあった人々がこ

ここにいる訳ですから、手出しをする私達のほうが悪いという事になります。

私達のセミナーやアチューメントを申し込んでくる人達でも、皆さん「光の世界に行きたい」と言いますが、自ら努力している人は少なく、セミナーを受ければ、光の世界に連れて行ってもらえるだろう、私達と一緒にいれば、光の世界にも行けるだろう、と考えている人達もいます。

そのような人々のスピリットや魂も、このような場所にとらわれているので、私達は、いったんは助け出すのですが、依存心が強い人のスピリットは、やはり同じ場所に戻ってきます。

私達は、ダークピープル達のサイキックアタックを受けながら、皆さんのスピリットや魂を救い出すために努力しているのですが、物理世界の分離がどんどん進んでいった今となっては、もうそれも終わりにした方がよいようです。

私達はもう、光 40%台の世界に捕らわれている人々のスピリットの救出をそろそろ終了したいと思っています。

そして、光 51%以上の世界に来た人達のフォローに力を尽くしたいと考えています。

2018年の夏には、物理世界も今まで以上に分離が進み、異なる世界の人同士が交流できなくなります。

そうになると、アセンションの基本的な計画であるスターピープルとのファーストコンタクトや人間の意識進化のためのプログラムなども始まる事でしょう。

## 第5章 アセンションの隠された真実

### PART1 「第20評議会の創造主」からのアセンションメッセージ

私達は今まで創造主やスターピープル達と共に、地球と宇宙のアセンションのために働いてきました。

それは、地球の皆さんには、はるかに予想を超える宇宙創成からのドラマの最終章のような物語の一部だったのです。

地球のアセンションは、地球に生きる人々の意識進化だけでなく、創造主も含めた宇宙全体の進化のために行われた事でした。

その事の詳しい説明を「第20評議会の創造主」が自ら語ってくれました。

「第20評議会の創造主」というのは、私達の宇宙のみならず多くの宇宙を統括する最高レベルの創造主です。

私もこのリーディングを取るのに3日ほどかかりました。

それだけ深い内容と意味があるメッセージですので、何度でも読み返してご理解ください。

#### ○光の創造主と闇の創造主

それでは今まで秘密にされていた事をTAKESHIさんにお話ししたいと思います。まだ私が若い創造主であった頃、宇宙の創造



を任された私は、素晴らしい光あふれる宇宙を創ろうと張り切っていました。

しかしその頃の私は、まだまだ未熟な部分が多くあり、自分の中にある闇のエネルギーを十分にコントロールする事ができず、光と闇が入り混じったアンバランスな宇宙しか創る事ができませんでした。

私の事を話す前に光と闇、そして光の創造主と闇の創造主の意味についてもお話をしたいと思います。

本来創造主の中には、創造の為のエネルギーとして2つの性格を持ったエネルギーが存在しています。

光と闇という言い方は、皆さんにとっては非常に誤解を受けやすい言い方です。

それは光と闇という言葉の中に、皆さんの善悪の価値観が伴っているからです。

光にも闇にも善悪はありません、ただの働きなのです。

その様な意味においては東洋哲学で語られる陰と陽という考え方の方が適切でしょう。東洋哲学の世界観では、対極から陰と陽が生まれ、陰陽の配分から5つのエレメントが生まれ、世界の創造が始まります。

私達創造主も、その陰（闇）と陽（光）という2つの異なる性格のエネルギーから、物理世界を構成する為の様々なエネルギーを生み出していくのです。

光と共に働く闇は破壊的でも支配的でもありません。

宇宙を創造するにあたって、皆さんの世界に昼と夜があるように、光と闇がなければ、宇宙を創造する事はできませんし、人々が生きていく事も成長する事も出来ません。

闇と呼ばれるエネルギーはとても内省的で創造的なものです。

創造のイメージや創造の方向性を作り出し、スピリットを形成するのも、本来は闇のエネルギーの仕事です。

そして、人々を成長させ、星々や宇宙を進化させるための学びを与えるのも闇のエネルギーの働きです。

創造主の働きにおいても同じ事が言えます。全ての創造主は、光と闇のエネルギーを合わせ持って存在していますが、通常の創造主は、光に満ちており非常にポジティブな創造を行なっています。

しかし、創造主の中には光のエネルギーを十分に持っていない創造主もいます。

私達は、光を失い破壊的な闇のエネルギーしか持っていない創造主を「闇の創造主」と呼んできました。

彼等が創る宇宙は、非常に退廃的で争いが多い宇宙です。

そして彼らは、他者に対して支配的でありたいために、他の創造主や宇宙に生きる生命体に対して暴力的で侵略的な行為を良く行います。

皆さんのアセンションを事ごとく邪魔してきたのは、この「闇の創造主」達でした。

それに対して、闇の創造主と表面的には同じような働きをする創造主でも、光と闇を併せ持ち、宇宙の成長や人々の学びのために働く創造主を「闇の働きを持つ創造主」と呼んでいるのです。

こちらは、皆さんに対しても様々な課題を与えますが、その課題を解決する事によって皆

さん自身が進化していく事を願って行動しています。

## ○創造主から分離された闇のエネルギーと闇の自分

さて、創造主の事について少しはご理解頂けたと思いますので、私の話に戻りたいと思います。

新たな宇宙の創造を始めた頃の私は、誰よりも光あふれる素晴らしい宇宙を創造したいと考えていましたので、闇の働きをするエネルギーを自分の創造から切り離したいと願っていました。

私を生み育ててくれた創造主は、光と闇のバランスを取る事こそが創造主の学びであると忠告してくれたのですが、私はその言葉を聴かずに自分の中にある闇の力を、自分から分離して封印してしまいました。

私は、自分の内側から闇のエネルギーがなくなったので、これで誰よりも光あふれる宇宙が創れると自負していました。

暫くの間、私の創造は理想的な形で進みました。

とても美しく輝かしい宇宙や星々が生まれてきました。

しかし、長い時を経て、私の宇宙に異変が起こり始めました。

今までの輝かしくて光あふれる宇宙の一角に大きな闇の渦巻の様なエネルギーが発生し始めたのです。

私の宇宙からは、闇のエネルギーを排除して

ありますので、この闇の渦巻の様なエネルギーがどこから生まれてきているのか、私には分かりませんでした。

そして様子を見ている間にも、そのエネルギーはすこしずつ広がり、周りの星々にも影響を与え始めました。

光輝く宇宙にある純粋な愛で満たされた星々が、闇のエネルギーによって侵され始めると、星の輝きに陰りが生まれ、その星のエネルギーが非常にアンバランスなものとなっていきました。

その星に住む人々も、本来は深い愛に満ち溢れた人達だったのですが、いつしか憎しみや欲望などを持つようになり、お互いが欲しいものを奪い合ったり些細な事で争うようになってきたのです。

私は、その様な状況を不思議に思い、その闇のエネルギーを調べてみる事にしました。

私が、闇のエネルギーを覗き込むと、そこにはもう一人の私がありました。

その闇は、私がかつて封印した私自身の闇だったのです。

私は驚きましたが、その時、私を生み育ててくれた創造主から言われた事を理解しました。

この闇のエネルギーは私から切り離される事で、自ら意思を持ち、もう一人の私として成長してきたのです。

その頃の私は、創造主としても大きな力を持ち、私の宇宙の創造を手伝ってもらうために多くの創造主達も生みだしていました。

しかし、私から切り離された闇のエネルギーも、私と同じように成長して、彼自身が創造主を自ら生み出していたのです。

ただし、もう一人の私の中には光がありませんので、彼が生み出した創造主は光を持たない闇の創造主ばかりでした。

そして私達が気付かない所で、私の宇宙とは異なる別の宇宙が出来上がっていました。

その宇宙には、たくさんの闇の創造主が生み出されていましたが、光よりも圧倒的に闇のエネルギーが大きな宇宙です。

その宇宙は、私達が創造の原理としている「愛」から生み出されたのではなく、「闇の自分」を見捨ててしまった私への憎しみや怒りのエネルギーをもとに宇宙が生み出されていたのです。

私達は、闇が多い宇宙がいくつも存在している事に驚きました。

しかも、それらの宇宙が、私達の宇宙に関わってきた事で、それらの宇宙の存在を初めて知ったのです。

私は、自分の分身がつくりだした宇宙を見て大変なショックを受けました。

そこには、私が切り捨てたかった闇のエネルギーが巨大な渦を巻いていたからです。

私はかって、自分から切り離れた闇のエネルギーを再度封印して、闇のエネルギーから生みだされた宇宙を光に返そうと試みましたが、しかし、長い間に成長していくつもの宇宙を創造してきた「闇の自分」はとても強い力を持っており、彼を封印する事はその当時の私にはできませんでした。

それから長い間、私が作った光が多い宇宙と私から切り離された闇のエネルギーによって生み出された闇が多い宇宙は、お互いせめぎ合って存在してきました。

闇が多い宇宙に生み出された多くの創造主

は、私がかつて封印した闇のエネルギーから生まれていますので、私に対して大きな憎しみを抱いていました。

彼等は、私に復讐する為に、私が作り出した宇宙に対して、闇の創造主を送りこみ、光の宇宙を混乱させ、闇が多い宇宙に変えていきました。

私が生み出した光の創造主にさえも、闇のエネルギーを吹き込み、創造主として行ってはいけない事を行なわせたりしましたし、星々に生きるスターピープル達や多くの生命体の意識を混乱させて、私が生み出した光の宇宙を破壊しようともしました。

そしてついに私が生み出した最高次元の4人の創造主達を反目させ、創造主大戦争を引き起こしてしまっただのです。

闇の力によってコントロールされてしまった「始まりと終わりの創造主」は、闇の力を得て他の3人の創造主の動きを封じ、私の手の届かない所に閉じ込めてしまいました。そして、彼らが生み出した創造主やスターピープル達も姿を消してしまいました。

更に「始まりと終わりの創造主」も、闇のエネルギーに飲み込まれ姿を消してしまいました。

私は「創造主大戦争」によって、私にとってはかけがえのない大切な創造主達の多くを失ってしまったのです。

そして光の創造主達を失ってしまった宇宙は大きな闇のエネルギーによって飲み込まれていきました。

私は、自分が作り上げた宇宙を私の手に取り戻すために、様々な苦勞を重ねてきました。

光の創造主達をたくさん生み出して、闇の創造主に対抗させようとしたが、本来愛と平和に満ちている創造主達は争う事を好みませんので、次々と闇の創造主達に利用されていきました。

そして長い時間が、私達に宇宙に流れていきました。

## ○闇が多い宇宙から光が多い宇宙へと変えるアセンションのシステム

その様な中で作り上げたのが、アセンションというシステムです。

アセンションはまさに、闇が多い宇宙から光が多い宇宙になるために、私が考え出したシステムです。

その宇宙に生きている生命体を段階的に成長させ、光と愛の度合いが高い生命体にする事で、その生命体が住む星々を光が多い星へと変えていきます。

そして、連鎖的に闇が多い星々が、光が多い星々に変わる事で闇が多い宇宙から少しずつ闇を分離して、光が多い宇宙へと変えていくのです。

その為には、今回のアセンションのように、ひとつの星でも、闇が多い世界は切り離していかなければならない時もありました。

もちろん全ての星々や宇宙が簡単にアセンションを実現出来たわけではありません。闇のエネルギーを分離し、光あふれる宇宙に戻す事ができた宇宙もあれば、そうでない宇宙もあります。

光の創造主達が闇の創造主の妨害に負けずに、正義を貫きアセンションを実行できた宇宙はよいのですが、皆さんの宇宙のように、光の創造主達であっても闇の力に理性を奪われた創造主達がいる宇宙では、なかなかアセンションを成功させる事はできません。

皆さんに知っておいてもらいたい事があります。

皆さんの地球がアセンションするという事は、他の星々のアセンションとは全く異なる理由があるのです。

通常一つの星は、惑星であれ恒星であれ、その周辺の星々を除いて閉鎖的なシステムの中に有ります。

地球のように一つの星の変動が銀河全体、あるいは宇宙全体に影響を与える事はありません。

それは、本来、スピリチュアルな世界や物理的な世界は、異なる世界どうしが交わる事や交流する事が許されていないために、他の世界に対してゲートが開かれていないからです。

これは創造主戦争が起きる前、闇のエネルギーを持った創造主達が、光が多い宇宙に侵攻してきた時に、その侵攻を止めるために作り出された大切なルールなのです。

しかし、地球の変化は天の川銀河どころか宇宙全体に対しても大きな影響を与えます。

それは、地球が天の川銀河だけでなく多くの世界と関わりが持てるように、ゲートが開かれているからなのです。

もちろん、一般の人々がそれらのゲートを利用して様々な世界に行く事ができる訳ではありません。



ゲートが開かれている理由は、地球に生まれ変わろうとするスターピープルや創造主達は、このゲートを使って地球に降りてきたり、元の世界に帰っていく事が出来るようになっているのです。

私を含めこの宇宙の創造主達やスターピープルのスピリットを持っているあなたであれば、創造主達やスターピープル達が関わる事が出来るほとんどの次元に、地球の物理世界からアクセスする事ができるのです。

以前、超古代創造主が生み出した古代のスターピープル達を救い出すために地球のみならず様々な星へ行けたのも、このゲートが開かれていたおかげです。

中には、地球にしかゲートを開いていない世界もありますので、その様な世界は地球以外の星からは探索する事ができません。

しかしこのゲートを使用できるのはスターピープルや光の創造主達だけではありません。

ダークピープルや闇の創造主達も同じように、このゲートを使う事ができますので、彼等も地球と地球人に対して大きな影響力を与える事ができます。

私達が、闇の創造主を探す時は、地球の物理世界からそのゲートを探し、捕まえるしか方法がないのです。

その為に、皆さんには本当に申し訳なかったのですが、闇の創造主達が皆さんに関わってくるまでなければ、彼らを捕まえる事はできなかったのです。

地球に開かれたゲートについてももう少しお話ししましょう。

地球の物理世界は、創造主やスターピープルの学びのために異なる世界へのゲートが開かれていますので、様々な星の人々が、地球に入ってくる事になりました。

彼らのスピリットは、地球人としての肉体を持ち、この地球で生活する事になります。皆さんのように、物理的な肉体を持っていれば、様々な波動の人達と関わる事ができますし、他の星では体験できないような経験をして、大きな学びを得られる事が可能になっているのです。

しかし、その為には重要な条件が付けられました。

地球に生れてきた人は、自分のスピリットと直接交流する事ができず、これまでに培ってきた自分自身の能力や記憶などもすべて忘れた状態で生きていかなければならないという条件です。

そうしないと、大きな能力や力を持った創造主やダークピープルが地球に降り立つと瞬く間に地球が侵略されてしまい、大きな争いが起きてしまうのです。

かつてシリウス星系でも同じような事が起きました。

シリウスはその当時、様々な次元につながるゲートを持っていたのです。

そして、闇の創造主がそのゲートを奪う為に、光の創造主とスターピープル達を一掃しようとして大きな星間戦争を引き起こしてしまったのです。

地球では、同じような過ちを繰り返さないために、地上に生きる人の意識とスピリットは分断されたのです。

この事によって地球人は、特定の間人が強力なパワーを発揮する事を抑え、平等な状態で生きていく事が出来るようになりました。

そしてスピリットと人の意識の間に魂を置き、スピリットの意識の一部分のみが地球に生きている人達にも理解できるようにしてあります。

地球人は、自ら努力する事によって、自分のスピリットの本質や使命などを少しだけ知る事ができます。

そして、その努力に応じてスピリットの能力の一部が使えるようになるのです。

## ○多くの世界に開かれたゲートを持つ地球を巡る争い

しかし、様々な世界にゲートを開いている地球は、闇の創造主やダークピープル達にとってはとても魅力的な場所です。

この地球のゲートを使って様々な場所に自由に行く事ができれば、宇宙の様々な星々を略奪し支配する事がとても簡単になるからです。

闇の創造主にすれば、地球を制する事で天の川銀河や皆さんの宇宙に対する支配力は一気に高まります。

闇の創造主と光の創造主は、今度は地球の支配権をめぐる争う事になりました。

闇の創造主のリーダーは、たくさんの闇の創造主達を生みだして、光の創造主の働きを妨害してきました。

そして地球の物理世界にもダークピープルやダークエンジェルを送り込み、肉体を持って生きている地球人の意識をコントロール

して、自分達の側につけていったのです。ダークピープル達は、自分達の誘いに乗ってきた地球人達の意識の中に入り込み、闇の創造主の意思のままに地球人を動かしていきました。

光の創造主達もスターピープルや天使達を地球に送りこみ、ダークピープルやダークエンジェル達のたくらみを阻止しようとしたのですが、スターピープルや天使達は、地球人の許可がないとその人に関わる事ができませんので、地球人を見守る事しかできませんでした。

地球は、地球人を通して、闇の創造主と光の創造主が対立する場所となったのです。

しかし、今迄は闇の創造主達が優勢だったために、何度か計画されたアセンションも失敗に終わりました。

アセンションを行なうために、地球に降りてきた創造主や優秀なスターピープル達も沢山いましたが、すぐに正体を見破られ、ダークピープル達によって大きな迫害を受け、本来の力を発揮する事ができませんでした。

地球は様々な波動の人達が自由に交流出来る場所なので、闇の創造主やダークピープル達が、人々から光を奪うには好都合の場所です。

光の創造主達は地球をアセンションさせるために、たくさんのスターピープルを地球に派遣してきました。

しかし、地球では、スピリットの意識と人としての意識が切り離されているので、地球に生れてきたスターピープル達が目覚める前に、彼らの魂や意識をダークピープルやダークエンジェル達に取り込んでしまうのです。

その為に、ほとんどのスターピープル達はスターピープルとして活躍する前に、ダークピープル達に光を奪い尽くされてしまいます。そして、多くのスターピープル達や創造主達のスピリットが闇の創造主によって閉じこめられたまま、地球は争いと略奪の歴史を切り返していったのです。

更に言うならば、私が、かつて切り離れた闇のエネルギーである「闇の私」は、光を初めから持っていませんので「闇の創造主」しか生み出す事ができませんでした。

その為に、光を求めて、光が多い宇宙に侵攻し、光の創造主が持つ光を取り込もうとしたのです。

闇のエネルギーは闇だけでは存在する事ができません。

闇が存在する為には光が必要なのです。

そして闇の創造主もダークピープルも、自分の力だけでは生きていく事ができませんので光の創造主や光をもった地球人、スターピープル達の光と活力を奪い続けなければならないのです。

## ○「闇の自分」との統合を図る第 20 評議会の創造主

第 20 評議会の創造主である私は、かつて自分から切り離れた闇のエネルギー、闇の自分自身によって多くの宇宙が、いまだ混乱の中に有る事を深い憂いと共に見ておりましたが、その混乱を最終的に解決しなければならない時がやってきました。

このままでは、光の創造主と闇の創造主の争

いが永遠に終わる事はありません。

私自身が切り離れた闇のエネルギー、そしてもう一人の私自身と統合を図り、光と闇がバランスを持って存在できるようにしなければならないのです。

そして「闇の自分」が生み出した多くの闇の創造主達を光に返していかなければなりません。

その為に、私は自分のスピリットの一部をいくつかに分け、地球の物理世界に降ろしました。

地球のアセンションを完成させ、地球を光の創造主のもとに取り戻さなければならないのです。

そして、地球のアセンションを妨害してくる闇の創造主や闇の創造主によってコントロールされている創造主達を残らず光に返していく計画を立てました。

もちろん今までの経緯から考えて、この計画が成功する見込みは決して高くありませんが、大天使達は勿論、優秀なスターピープル達を総動員してこの計画を実行する事にしました。

そして世界中に降ろされた私のスピリット達のなかで、TAKESHIさん達が生き残り、皆さんのスピリットに託された使命に目覚める事ができました。

私だけでなく多くの光の創造主達は、自分が置かれた立場ごとに様々な問題を抱えていましたが、TAKESHIさん達が目覚め、ひとつずつ創造主の階段を駆け上っていくにつれ、それらの問題を解決し、闇の創造主達を光に返し、封印されていたスターピープル達

を目覚めさせていきました。

そして私の手の届かない所に封印されていた超古代創造主達も助ける事ができました。彼等は、私の力をいくつかに分けて生みだした創造主達です。

4人の創造主が私のもとに戻ってくる事で、私自身も完全な力を発揮する事ができます。残念ながら、「始まりと終わりの創造主」は闇の力とひとつになってしまいましたが、残りの3人の創造主は皆さんの助けもあって私のもとに戻ってきてくれました。

さすがの私でも、この3人の創造主の助けなくしては、かつて私から分離した「闇の自分」と向かい合い、再統合する事は不可能でした。

いえ「闇の自分」を見つけだし捕らえる事すらできなかつたでしょう。

そして、皆さん達が多くの闇の創造主を処理していただいたおかげで、「闇の自分」は、その力の多くを失いました。

「闇の自分」は、私と統合される事を望んではいませんでしたので、アセンションを妨害し、皆さん達をこの世から抹殺するために、たくさんの闇の創造主やダークピープル達を皆さんのもとに送り込んできました。

皆さんには大変つらい思いをさせたのですが、私達にとっては、闇の創造主を見つけだし光に返す事ができる大切な機会だったのでした。

しかし、ついに「闇の自分」を見つけだし、再統合に成功しました。

再統合している間は、皆さんの宇宙自体が光

と闇のバランスが大きく崩れ、光の創造主達にも大変な迷惑をかけてしまいましたが、この統合によって「闇の自分」から生まれた全ての闇の創造主は力を失い、その支配力は消えていく事となります。

皆さんの宇宙を今まで支配してきた闇の創造主は、皆さんの世界から消えていく事になります。

これからは、彼等によって生み出されたダークピープルや創造主まがいの存在も、皆さんの宇宙から消え失せ、皆さんとスターピープル達によって新しい未来が訪れる事になります。

皆さんの宇宙の創造主達も、今まで闇の創造主によってコントロールを受けていた一面もありますが、これからは全ての創造主が光と闇を程よく持ち合わせた素晴らしい創造主になっていく事でしょう。

皆さんの世界のアセンションは、完成へと近づいています。

皆さんと分かれた闇が多い地球が属する宇宙では、彼らの存在は影のように残るでしょうが、今迄の様な強大な力を持つ闇の創造主は消えていく事でしょう。

彼等によって創造された多くの闇が多い宇宙も、これから少しずつ光が増えていつかは光が多い宇宙へと変わる事になります。



## 第6章 アセンションを迎えた地球

### PART1 アセンションすると何がかわるのか

ときどき、地球のアセンションが起こると全てが一度に変わって素晴らしい世界になるのだと思っている人がいます。

私も、以前はそう思っていましたので、アセンションにとっても大きな希望を抱いたものでした。

特にアセンションが進むにつれ、ダークピープルや闇の創造主からのサイキックアタックで、体を壊し死にそうな目に合った事もありましたし、私の会社もスタッフが辞めたり、売り上げが急降下して倒産寸前まで行きましたので、地球がアセンションすれば、全てが変わる、全てが変わってほしいと、必死で願っていたものです。

人は苦しくなればなるほど、誰かにすがりたくなります。

そのころの私達もすがるような思いでアセンションのために働いていました。

しかし、アセンションはその様な気持ちを捨て去ったところから始まります。

それでは、地球のアセンションが完了するとどの様な変化が起きるかを、私なりに説明してみたいと思います。

スピリチュアルな世界ではもうすでにアセンションは終了していますので、大きな変化が起こりました。

地球や地球が属している宇宙を荒らしまわっていた「闇の創造主」の多くが光に帰り、私達の宇宙を統括する光の創造主達による宇宙の仕組みが完成したようです。

そして闇の創造主に捉えられていたスターピープルや地球人のスピリットも解放され、私達の宇宙は健全な成長を迎える事になります。

しかしながら、私達の地球はアセンションが完了しても全てが一度に変わるわけではないのです。

他の星の場合は、その星に住む種族達の意識は一つに統合されており、種族が成長した証として、その星ごとアセンションしますので、新しいステージに入る事をその星に住む全ての人達は喜びをもって迎えます。

しかし、地球のアセンションは、地球人がアセンションの事をほとんど知りませんので自分達に何が起きているか理解する事が出来ていません。

そのために、地球では、多くの人達が共に住む物理世界が一度に変わる事はありませんでした。

地球のアセンションは、他の星のアセンションと違って、異なる波長をもつ人々を分離する事からはじまったのです。

最初は、創造主達も地球人全てをアセンションさせて、地球人の種族そのものを進化させようと考えていたようですが、地球人は様々な価値観を持っており愛の度数も人によって全く違います。

地球人としての進化を望まず、欲望のままに暮らしたいと考えている地球人も多数いま

した。

しかも、地球には多くのダークピープルがかなり昔から入り込んでおり、地球人をコントロールしたり、地球人と一体化して地球の物理世界を支配していたのです。

スターピープルや光の創造主は、闇の創造主によって、その力を抑え込まれておりましたので、十分に活躍する事が出来ず、地球は闇の多い世界になってしまっていたのです。

このままでは地球人を進化させるどころか、彼らによって捉えられたスターピープルや地球人のスピリットさえも助け出す事が出来ない状態でした。

創造主は、その現実を見て、地球人の全てをアセンションさせるのではなく、地球人として進化していく資質を持っている人だけを救い出しアセンションさせるしかないと考えたのです。

そのために、光を多く持った地球人や愛の度合いの高い地球人、純粹で優しい心を持った地球人を地球の物理世界から助け出す事をスターピープルに命じたのです。

地球のアセンションは、地球をいくつかのパラレルワールドに分け、様々な価値観を持つ人々や異なる波長を持つ人達を、それぞれの地球に分離する事を第 1 目的とする事にしました。

そして地球人として進化を望む人達や光が大きい人達、愛の度数が高い人達を、新しく作った光が多い地球へと送り、そうではない人達と異なる世界へ分ける事にしました。そこは光 51% 以上の世界ですから、光の創

造主達が統治する世界となります。

同じ地球人でも、自分の事ばかり考えている人や経済的な利益ばかりを追い求めている人、他人を支配したり他人の物を略奪する事に喜びを覚えている人達は、スターピープル達がどれほどメッセージを送っても振り返ろうとしないので、彼らは今までと同じ地球に残り、今までと同じような世界で暮らす事になります。

このような人達の生活や人生は今までとは何一つ変わる事がないのでアセンションが起こっている事には全く気付きません。

これが「物理世界での人々の分離」と呼ばれているものです。

「物理世界での人々の分離」を簡単に説明すると、皆さんが中学校を卒業して、次にさまざまな学校に行ったり就職したりする事に似ています。

中学校までは、どのような子供達であっても同じクラスで同じような教科を学びます。全ての子が分け隔てなく生きる事ができます。

これが今まで、皆さんが生きてきた地球の在り方でした。

皆さんがどの様な人であったとしても、全ての人と同じ物理世界に生きる事が出来ました。

そして考え方が全く異なる人とも自由に会って会話をしたり学び合う事もできたのです。

しかし中学校を卒業すると、皆さんは自分の目的や価値観に合わせて様々な学校に行っ

たり、就職する事になります。

もっと勉強して大学に行きたいと思う子は普通科に行きますし、工業や技術を学びたい子は工業高校、農業を学びたい子は農業高校、社会に出る準備をしたい子は商業高校に行きます。

芸術や音楽など特別な技能を身に着けたい子はその様な学校に行くか自分独自で修行します。

あるいは進学せずに、会社などに入社して社会に出る子もいます。

どの道を選択しても自由ですし、どの道が良いとか悪いという価値判断もありません。ただ自分が行きたい道に進む事になるだけです。

地球のアセンションも同じです。

今の世界がよいと思う人もあれば、もっと争いが多くサスペンスな世界が良いと考える人もいます。

あるいは、経済的、政治的に成功して、もっと豊かになりたいと考えている人もいます。

あるいは、豊かな愛の世界に行って地球人として進化したいと考えている人もいます。

現在の地球のアセンションは、それぞれ自分達が望む世界に分かれて歩みはじめた状態です。

これから、皆さんは自分が望む世界で生きていく事になります。

しかし自分の意識と行動が伴わなければ、自分が望む世界に行く事はできません。

いくら光が多い世界に行きたいと思っても、自己中心的な生き方や他人に依存する

ような生き方をしているのは、決して光の世界に行く事はできません。

また憎しみや怒りの感情、不安や恐れ、悲しみの感情に支配されているのは、愛に満ち溢れた人々と同じ世界に行く事もできません。皆さんが、どの様な願いを持とうとも、現在の自分に見合った世界に行く事になります。

しかし、光の多い世界やアセンションした世界について、そこがまるで楽園のような素晴らしい世界であるわけではありません。

最初は、あなたが今まで暮らしていた世界とほとんど変わらない世界です。その現実にかっかりする人もいるかもしれませんが、アセンションが完了するとすべてが変わる、という期待はすべて捨ててください。

アセンションした世界は、初めから理想の世界があるわけではなく、これから作り上げていかなければならないのです。

しかし、そこに生きている人達は、愛の度数が高く地球人の意識進化を望んでいる人達ばかりですので、今までとは異なる素晴らしい未来が開けてきます。

一緒に生きているだけでも、楽しい気持ちが伝わってくる事でしょう。

そして、あなた自身が多くの仲間達と共に、すばらしい未来を作り上げていくのです。誰かが、自分のために光の楽園を作ってくると考えている人は依存心が強い人なので、初めから光の世界に入る事はできません。

1人1人が、光の世界を作り地球人として

意識進化してスターピープルになっていく事が大切です。

その為に必要な事は、皆さんの友人であり、教師であるスターピープル達が指導してくれる事になっています。

光が多い世界では、先ず皆さんをサポートしてくれるスターピープル達との交流が始まるでしょう。

彼等は何時でも注意深く皆さんの事を見守り、地球人がアセンションしていく事をサポートしてきました。

皆さんは、常に彼等の助けを受けていたのですが、彼らの事は全く知らずに過ごしてきたのです。

光が多い世界では、皆さんの心の準備ができたなら、スターピープルとのファーストコンタクトも行なわれる事になっています。

皆さんが、スターピープルに対する恐れや不安、そして助けてもらいたいという依存心を捨て、地球人の進化のために、良き先輩としてアドバイスをくれる存在であると理解した時、ファーストコンタクトは行われます。

それ以前にも、スターピープルは皆さんの夢の中に現われたり、潜在意識に働きかけて、皆さんの意識が活性化していく事をずっと助けていました。

彼等の助けがなければ、光の世界に行ける地球人は本当に数えるほどしかいなかった事でしょう。

しかし、光が多い世界では、数年のうちにスターピープルが地上に姿を現し、皆さんの新たな進歩のために様々な面で協力してくれる事になります。

それは、今よりも簡単に他の星々へと行けるような宇宙工学だけにとどまらず、皆さんの生活をさらに進化させていく様々な技術や考え方、新たなシステムをつくるための価値観などを地球人が見出していく事を支えてくれます。

そして、地球人は大いなる意識の目覚めを迎えるのです。

しかし、その為には、地球人が乗り越えていかなければならない問題がいくつもあります。

多くの国に分割されている地球が、ひとつに統合されていかなければならない事や「愛」を基本とした教育と社会的なシステムを作りあげていかなければならない事です。

そして、それらを実現するためには、私達 1 人 1 人が宗教や国境、人種や考え方の違いを全て乗り越えて、共に助け合えるような地球意識を身に着けていかなければならないのです。

それが、地球のアセンションの次の目的です。



## 第7章 新たな種族を生まだす苦勞

### PART1 呼びかけてくるスピリット

本来は2018年の3月末で、地球のアセンションは終了し、地球の物理世界は分離された世界となる予定でした。

そして前章のアセンション最終章が、アセンション前の最後の記載となるはずでした。それは私達だけでなく全ての創造主やスターピープル達もそのように考えていたのです。

しかしながら、地球と私達のアセンションは、まだ終了する事はできませんでした。

もうしばらくアセンションの最後の後処理をする必要が出てきてしまったのです。

4月になると、恵理さんの妊娠を気遣ってしばらくセミナーやアチューメントを休む事にしました。

しかしながら、どうしても私達のセミナーを母娘で受けたいと言われる方がいらしたので、一度お電話でお話をさせてもらおう事にしました。

セミナーや電話でのセッションを行なう前に、私達はその方のスピリチュアルな状況を前もって調べる事があります。

そうでなければ、その方がどのようなスピリットを持ち、どのような環境にいて、どのような問題に直面しているかわからないからです。

人の言葉は、自分の事を正確には語らないものですから、あらかじめその方のスピリットの状態を正確に把握しておかねばなりません。

特に様々なヒーリングを行なっている方に対してセミナーやセッションを行なう場合は、そのヒーリングの裏に隠れているダークピープル達が私達を攻撃してくる事がありますので、注意が必要です。

この時も、お嬢さんが、私達のセミナーを受けたいと仰っていたので調べてみると、お嬢さんのスピリットは、光40%台の世界に捕らわれていました。

お嬢さんのスピリットは、自分自身が望んではいないのにその場所に捕らわれていたので、簡単に救出する事ができました。

捕らわれているスピリットが、その場所にいたいと思うならば救出する事はできませんが、お嬢さんのスピリットはそうではなかったなので助ける事ができたのです。

私は、セミナーを希望されている方のアチューメントをセミナー前に行う事にしました。その方（Fさん）は、様々なヒーリングやスピリチュアルな活動をなさっている方でしたので、あらかじめ不要なエネルギーをクリアーにしておく必要があるからです。

私達は「大天使ミカエルの破邪の剣と大天使ウリエルの導きの光」を彼女に行い不要なエネルギーをとり除くとともに、彼女に対してヒーリングやスピリチュアルな活動の裏に潜む人間のエゴについて話しました。

そして、そのエゴを利用するダークピープルや闇の創造主達の野心についても話したのです。

ヒーリングやスピリチュアルな活動を行なう人々の多くが、ヒーリングや霊視力などの特殊な力を得て、他人から特別な存在として見られたい、苦勞する事なく多くのお金を得たいと考えています。

最初はだれでも、人々を癒したい、人の役に立ちたいという思いでこの世界に入っていくのですが、ヒーリングやスピリチュアルな施術を仕事にし始めると、自分の生活や利益の事を考えはじめ、どうしても儲けたい、多くのクライアントさんを集客したいという気持ちが強くなってきます。

その様な思いを持った人々は、ダークピープルやダークエンジェル達と深い関わりを持ち、彼らの力を使ってヒーリングなどの仕事をするようになるのです。

ヒーリングにたずさわる人の多くが、自分達が繋がっている存在は本当の天使や正当なマスターであると信じこまされていますので、自分達がダークピープル達の力を使う事に何の疑問も持ちません。

しかし、私達から見れば、その様な行為を続ける事で、自分のスピリットの光を彼等に奪われてしまうのです。

私のアチューメントが終了した夜、彼女のスピリットに変化が起きたようです。

私達が眠りに入ろうとしていた頃、アチューメントを受けてくださった方のスピリットが恵理さんに話しかけてきました。

私が大天使ミカエル達のアチューメントを行う事で、ダークエンジェルやダークピープル達の呪縛がとけ自由になったようです。

そしてFさんのスピリットは私達に思いがけないお願いをしてきました。

「TAKESHIさん、恵理さん、私達の種族を助けてください。

私達の種族は新たに地球にやってきたのですが、自分達の使命を果たす事なく、現実世界に捕らわれてしまっています。

私達は、自分達の大切な目的を果たさなければなりません。」

Fさんのスピリット、もしくはスピリットの一部は、この地球のアセンションをサポートするためにやってきたスターピープルのようです。

私は、太陽種族のフレッドとロッド星人、そして地球のアセンションの実務を担当するアシュタールのエレナさんに出てきてもらい、この種族の事を尋ねました。

エレナさんやロッド星人はこの種族の事については未だ詳しい情報を持っていないようでした。

「TAKESHIさん、私達は、未だこの種族の事については詳しい情報を得ていません。ただ創造主様が、地球上に新しい種族を生み出す事を考え行動しているという事は聞いていますが、その事と関係があるかどうかは分かりません。」

私はフレッドに尋ねました。

「フレッドは未来から来ているので、この種族が地球に生れた事や活動した記録はないのですか。」

「TAKESHIさん、実は私達が来た未来と今の地球が進んでいる未来はもうすでに異なってきているのです。」

私達が存在していた歴史の中では、この時期に、このような種族は登場してきません。第20評議会の創造主が、自分の闇を再び取り戻した事で、今迄の地球とは異なる地球になってしまったのです。」

「それはいい事なのですか。」

「もちろん、第20評議会の創造主が闇を統合してくれたおかげで、私が存在していた宇宙で起こる様々な問題を事前に回避する事ができましたし、今迄よりもさらに素晴らしい宇宙が生まれてくる可能性があります。」

「たとえば、どのような事が変わるのですか。」と私は尋ねました。

「私達にとって最も大切な変化は、太陽種族だけでなく私達をサポートしてくれる月の種族が生まれる可能性があるという事です。創造主は、私達に今後、月の種族を生み出す予定があると言っていました。もしかしたらこの種族と月の種族が、何らかの関係があるかもしれません。」

## PART2 新たなアセンションのために生み出された種族

私達は、第20評議会の創造主を呼びだして直接聞いてみる事にしました。

第20評議会の創造主は、私の呼びかけに応え、すぐに出てきてくれました。

「TAKESHIさん、実は大変困った事が起きてしまいました。

私は自分自身の闇を統合する事によって、今までにない新たな宇宙を生み出す事ができるようになりました。

その為に、この物理世界において太陽種族のサポートを行なう月の種族を生み出す事にしたのです。

私は、このアセンションの時代に月の種族の原型を生み出すために、時間をさかのぼって新たな種族の種を地球人に仕込んだのです。」

「新たな種とはなんですか。」私は尋ねます。  
「それは、月の種族を生み出す事を手助けするためのスターピープルのスピリットを地球人のスピリットの一部として降ろしたのです。」

第20評議会の創造主の言葉にエレナさん達も驚いています。

「第20評議会の創造主よ、そのスターピープルはどこからやってきたのです。」

「彼等がやってきた宇宙は、地球のアセンションをサポートするために新しく創られた宇宙ですから皆さんが未だ知らない宇宙です。」

まあ、第20評議会の創造主ともなれば、一つの宇宙を創る事など簡単な事ですから、そういう事があっても不思議ではありません。

「それで困った問題とはなんですか。」

「彼等は、人間として生まれてくるのは初めてなので、自分達の使命を果たすどころか、40%台のダークピープルやダークエンジェル達に誘われて好き勝手に生きています。」

本来であれば、その優れた資質で新たな種族をうみ出す基盤を作らなければならないのですが、この種族の光はとても美しく目立つために、ダークピープル達の餌食になってしまったのです。」

「そういう事だったのですか。  
それで彼らのスピリットが私達に助けをもとめてきたのですね。」  
私達は、これから太陽種族のパートナーとなるべき種族が生まれる事に対して喜びを感じましたが、この種族の救出を先ず行わなければなりません。

その翌朝、Fさん達の種族のリーダーのようなスピリットが私達のもとに来ました。

「TAKESHIさん、恵理さん、私達の種族のスピリット達を助けてください。

私達の意識は一つなので、全てのスピリットを助け出さないと、私達は本来の活動ができないのです。

私達の仲間達の多くが、自分達の使命を忘れてしまいました。

自分達の使命を覚えている仲間達もこのままでは、だめになってしまいそうです。

私達の種族が本来の役目を果たすために、全員のスピリットを光の世界へ連れて行ってください。」

私はふたたび第20評議会の創造主を呼びだして話をします。

「第20評議会の創造主よ、この種族のスピリット達から助けてほしいとメッセージが来たのですが、彼らの意識は一つだと言っていたのですが、これはどういう事ですか。」

「実は、この種族は共通の意識で動くように、初めから作られているのです。

その方が行動に統一感があり、物事を実現しやすくなると思ってそうしたのですが、その共通の意識をダークピープルに見抜かれてしまい、彼らは種族ごとコントロールを受けてしまう事になってしまったのです。」

「そうになってしまうと、全てのスピリットを助け出す事は難しいかもしれませんね。今はまだ、自分の役目を覚めているスピリット達もいるようですが、彼等だけでも救い出す事はできないのですか。」  
周りにいるスターピープル達も、この種族の現状を見て困っているようです。

「TAKESHIさん、私も今それを考えているところです。  
彼等の共通の意識を2つに分断して、光40%台の地球に残るスピリットと光50%台の世界に入り、新たな種族を生まだす働きをするグループに分けようと思っています。」  
「それがいいかもしれませんね。  
今回Fさん達のセミナーを行なうのは、その事を行う為だったのですか。」

「そうなのです。  
私も自分が生み出した種族が地球でどのような状況にあるのかもっと詳しく調べたいと思っています。  
確かに、この種族のスピリットを持つ人々はヒーリングやスピリチュアルな事にとっても興味を持っていますが、それはこの種族の本来の性質なのです。

しかし、その性質を利用されてしまい、ヒーリングやスピリチュアルの罠にはめられてしまったスピリット達がとても多いのです。それらのスピリットは、罠にかかったとはいえ、自分の意思でヒーリングなどを行なっていますので、彼らをヒーリングやスピリチュアルの世界から引き離す事は難しいと思います。  
しかしながら、スピリットの中には、まだヒーリングやスピリチュアルの罠にはまっていないスピリットもいますので、私達は、こ



の種族を2つのグループに分けて助け出す事にしました。」

翌日、第20評議会の創造主が困った顔をしてやってきました。

「TAKESHIさん、この種族の意識を2つに分けてみたのですが、もともと共通意識で活躍していたために、お互いが離れ離れになる事に対して大きな抵抗感があるようです。異なる世界に行った仲間達を、再び自分のもとに引き寄せようと、お互いが呼び合っているのです。」

私も第20評議会の創造主の思いがけない言葉に困ってしまいました。

「それで、どちらの種族の方が優勢なのか。」

「やはり光40%台の世界にいる種族の方です。」

こちらの世界は、今までの地球と同じですので、非常に活気に満ちていますし、この世界に残っている種族の方が、圧倒的に数が多いのです。」

「そうですね、この種族の中でも光の世界に向かう人は決して多くはないでしょうからね。」

それでどうしますか。」

「私達は、もうしばらくこの種族のスピリットを持つ人達の様子を見て、うまく行かない時は、一度この種族のスピリットだけ、私のほうで回収し、新たに作りかえて地球に降ろす事になりそうです。」

新たに種族を作るという事は、大変な苦労があるようです。

しかも地球は、スピリットの働きや記憶は、生きている人々に分かりませんので、なおさら難しいようです。

太陽種族のフレッドも、せっかく自分達のパートナーが生まれてくる予定だったのがうまく行かずがっかりしているようです。

## 第8章 異なる宇宙の創造主 からの試練

### PART1 甦った闇の創造主

5月になってから、前章でご紹介した新たに  
生み出された種族の救出活動を行っていた  
のですが、その頃から、私達の体調が少しず  
つおかしくなってきました。

家にいても落ち着かなくなり、夜もゆっくり  
と休む事ができなくなってきたのです。

スターピープル達に原因を聞くと、捕らわれ  
ていた種族のスピリットの多くが光40%台  
の世界にいた為に、私達の体にも光40%台  
のエネルギーが流れ込んできたのでしょ  
う、と答えます。

スピリチュアルの世界では、完全に分離が終  
わったとはいえ、物理世界ではまだこの2  
つの世界の人々は交流できますので、私達も  
光40%台の世界に生きる人々と関わる事  
になります。

その関わりは、仕事や日常生活での関係であ  
れば大した問題はないのですが、スピリチュ  
アル的なレベルの関わりになると、私達と相  
手のスピリットは深い関係を築きますので、  
その人をとおして、その人が存在している世  
界のエネルギーが私達に流れ込んでくる事  
になります。

特に、相手の人が様々なヒーリングやスピリ  
チュアルな活動を行っている場合は、その裏  
に潜むダークピープル達が、その人のスピリ  
ットを自分達から奪われないために、その人

のゲートを通して私達にサイキックアタックをかけてくる事があります。

今回は、その様な事が無いように、ダークピープル達には、私達が光40%台の世界にとどまる事を希望するスピリットを無理やり、光50%台の世界に連れていく事はないという事を約束して、スピリットの救出を行なっていますので、彼等が私達にサイキックアタックをかけてくる事はないはずです。

しかしながらゴールデンウィークの後半になると、私達の体調不良は更にひどくなります。

私は頭が締め付けられるような感じや腹痛が続きます。

私の仕事から、とても大切な右手の親指にも痺れるような痛みが走ります。

そして恵理さんは、妊娠している体に大きな負担がかかってきているようです。

腹痛だけでなくお腹がはり、背中や腰にも耐えがたい痛みが走ります。

これは、放っておいたらお腹の子供にも大きな影響が出そうです。

美輝が生まれる時も、地球のアセンションを妨害しようとする闇の創造主からサイキックアタックを受け、胎盤の機能不全に追い込まれ、危うく美輝の生命を奪われそうになった事がありました。

その時は、緊急の帝王切開で低体重ながらも、何とか美輝を生む事ができたのでよかったのですが、闇の創造主達は太陽種族が生まれないように様々なアタックを仕掛けてきますので注意が必要です。

私達は気になって第8評議会の創造主や「闇の創造主を統治する創造主」に、まだ闇の創造主が残っているか聞いてみました。

「TAKESHIさん、私にはその様な創造主がまだ残っているようには思えないのですが、一体どうしたのでしょうか。」と「闇の創造主を統治する創造主」は答えます。

確かに、アセンションもまもなく終わろうとする今、その様な闇の創造主はもうすでに処理を行なっていなくなっているはずですので、私達にこれだけのサイキックアタックがおこる原因が理解できません。

私達は、ロッド星人や太陽種族のフレッド等と呼ばだして、私達に影響を及ぼしている原因をしらべてもらいましたが、彼等にはその原因がつかめないようです。

「TAKESHIさん、私達には、TAKESHIさんや恵理さんを苦しめているエネルギーが特別あるようには見えないのです。これも TAKESHIさん達が光40%台の世界の人々に関わっているために、物理世界の人々の感情や依存心が、恵理さんの体に影響を与えているのではないのでしょうか。」

ロッド星人はいつもの言葉を繰り返しています。

しかし、私達には、ロッド星人達の対応が少しおかしく感じられます。

もしかしたら、スターピープル達の行動を妨害して、私達に影響を与えているエネルギーを見破らせないようにしている可能性もあります。

私は急いで上位のスターピープルや各評議会の創造主達を呼びだして調べてもらいま

すが、誰も確固とした原因がつかめないようです。

私は頼みの綱である第 20 評議会の創造主を呼びだします。

私達が生きている宇宙だけでなく多くの宇宙の全てを司る最高レベルの創造主ですから、彼が調べて分からない事は今までありませんでしたし、通常の創造主では入れない場所にも彼のスピリットの一部は自由に入る事はできますので、私達に起こっている事の原因が分かるはずです。

私達が第 20 評議会の創造主を呼びだした時、彼は何かを一生懸命調べているようでした。

「第 20 評議会の創造主、一体どうしたのですか。

私達は、このところ体調が悪く、大変なサイキックアタックを受けているのではないかと思います。

このままでは新しく生まれてくる子供の生命も危険にさらされるかもしれません。一体何が起きているか教えてもらえませんか。」

「TAKESHI さん、実は私達も異常なエネルギーを感じて、その原因を探っているのですが、まだ分からないのです。

私も触れた事が無いエネルギーが、皆さんの地球に入り込んでいる様なのです。」

私は一瞬、「しまった！」と思いました。第 20 評議会の創造主にとって未知のエネルギーが私達を襲っているという事は、私達の宇宙とは異なる存在が関わってきている可能性があります。

私達が気付かないうちに、地球のアセンションを覆すような大変な出来事が裏で起きているようです。

ロッド星人や多くの創造主達も、そのエネルギーによって意識をコントロールされ、何も気づかない状態にされている場合があります。

これは見逃してしまうと、恵理さんの体と子供の命が危険にさらされてしまいます。

その時、近くで美輝が大きな声を上げて泣き始めました。

このような時は、美輝のスピリットに自分の一部を降ろしている創造主が何かの情報をつかんでいる可能性があります。

美輝のスピリットの元となっているのは第18評議会の3人の創造主の1人である「パワーの創造主」ですが、物理世界に近い世界の探索や処理を行なうために、あえてこの地球にそのスピリットを降ろしているのです。

私達は美輝の創造主を呼びだします。

「TAKESHIさん、恵理さん、私達、創造主でさえも予想をしていなかった事が起こっています。

すぐに探索を始めてください。

その間、私が相手のエネルギーを遮りますから、見つける事ができるはずです。」

私はすぐにピカフラッシュを呼びだしました。ピカフラッシュは、ある意味、機械のような性質をしており自分の意思を持ちませんから、他の創造主からの意識のコントロールを受けずに、忠実にエネルギーを追いかける事ができる唯一の存在です。

今回は、このピカフラッシュに、私達の希望の全てをかけてみる事にします。

ピカフラッシュはすぐに恵理さんのお腹や背中に影響を与えているエネルギーを調べると、その発信元を探すためにある方向に向かって走り出しました。

恵理さんもさらにひどくなるお腹の痛みをこらえながら、ピカフラッシュの行く先を霊視します。

そして第20評議会の創造主をはじめ、多くの創造主達が恵理さんのビジョンを通して、何が起きているか調べています。

やがてピカフラッシュが、1人の闇の創造主を見つけました。

まるでメデューサの頭のように、何匹もの蛇がその創造主の頭から首を持ち上げ、怒りに満ちた息を吐きかけてきます。

その姿を見た多くの創造主達が驚いています。

「TAKESHIさん、この創造主は、多くのヒーリングやスピリチュアルな活動を利用してたくさんの地球人やスターピープル達のスピリットをとらえていた創造主でしたね。この創造主は、私達がすでに光に返したはずなのに、ここにいるという事は、誰かが彼女を生まれ変わらせたか、過去にさかのぼってこの創造主を連れてきたか、どちらかでしょう。

しかし、光40%台の世界には、その様な事ができる創造主はいないはずですが、」

私はすぐに光40%台の世界を担当する「闇の創造主を統治する創造主」を呼びだしましたが、彼はこの創造主が復活した事も、40%台の世界が新たな闇のエネルギーに襲われている事にも気づいていないようです。



あれだけ用心深く、闇の創造主の事を知り尽くしている「闇の創造主を統治する創造主」さえも、未知のエネルギーから意識のコントロールを受けてしまっているようです。

しかしこの「メデューサのような創造主」が復活していたとするならば、私達に対して、これだけ強力なサイキックアタックを仕掛けてくる理由は分かります。

この創造主は、私達によって光に返されてしまったので、光の創造主は勿論、私達に対しても大きな怒りを持っていますので、私達に復讐してきても不思議ではありません。

しかし、そのサイキックアタックが彼女だけのエネルギーであれば、光の創造主やスターピープル達もすぐに検知できたはずです。

## PART2 知らぬ間に入り込んでいた別の宇宙の創造主

美輝の創造主が私に言います。

「TAKESHI さん、問題はこの「メデューサのような創造主」を誰が復活させたかです。犯人が逃げないうちに急いで探してください。」

私はその言葉に我を取り戻し、「メデューサのような創造主」の取り調べは他の創造主にお願いして、彼女を操っている創造主をさらに探す事にしました。

「ピカフラッシュ、この創造主につながっているエネルギーラインをさらにたどってくれ。」私の言葉を聴くと、ピカフラッシュはすぐに動きだし、深い闇の中に入って行きました。

私達も、ピカフラッシュを追い、闇の中を走り回ります。

すると、そこに今まで見た事もない存在が3人現れてきました。

私は第8評議会の創造主にこの存在の事を尋ねました。

「TAKESHIさん、この存在は創造主のようですが、私達の宇宙の創造主ではありません。私達とはかなり異質のエネルギーを持っていますので、近づくと危険です。」

おそらくこの3人が、先ほど第20評議会の創造主が、今まで触れた事が無い未知のエネルギーと呼んでいたものの正体かもしれません。

私達の宇宙の創造主達とは大きく異なるエネルギーに多くの創造主が沈黙してしまいました。

そこに第20評議会の創造主が現れると、この3人の創造主達を自分の光のベールで包み、他の創造主達に影響が出ないように、彼らのエネルギーを隔離しました。

「第20評議会の創造主よ、この者達は一体誰なのですか。

私達の宇宙の創造主ではないとの事ですが、すぐに捕まえて光に返したらどうですか。」と私は第20評議会の創造主に尋ねます。

「TAKESHIさん、彼らは、エネルギーからいっても、私達の宇宙の創造主ではない事は確かなようです。

おそらく光40%台の地球に、異なる宇宙との新しいゲートが勝手に開かれたのではないのでしょうか。

今まで皆さんに関わってきた宇宙は、私が作った大宇宙の中の異なる宇宙でしたので、私の判断ですべての事が行なえましたが、彼らは私が作った大宇宙とは異なる宇宙から来ていますので、私だけの判断では彼等の処理ができませんのでしばらくお待ちください。」

そういと第20評議会の創造主は、彼らを連れて消えていきました。

きっと第21評議会の創造主やさらに上の創造主のもとに相談に行ったのでしょう。

しかしながら、彼らを捕まえる事ができたおかげで、彼等が私達の宇宙の創造主に行っていた意識のコントロールが解けてきたようです。

光の創造主に続いて、光40%台の創造主達も、彼らの呪縛から目覚めてきたようです。私ととても仲が良い「闇の創造主を統治する創造主」が、すぐに私のもとにやってきました。

「TAKESHIさん、本当に申し訳ありません。私とした事が、異なる宇宙の創造主とはいえ、自分の意識をコントロールされて光40%台の世界を守る事ができませんでした。

すぐに光40%台の世界を調べてみると、異なる宇宙との間に大きなゲートが開いており、今でもその宇宙のエネルギーが流れ込んでいます。

もうすでに光40%台の世界は、彼らの宇宙のエネルギーに満ちていますので、彼らの支配下にあるといってもよいでしょう。

早く、このゲートを閉じなければ、彼らの宇宙から他の創造主もやってくるかも知れません。」

光の創造主と光 40%台の創造主が、新しく開いたゲートの前に集まり、ゲートを閉じようとしませんが、なかなかうまく行きません。その時、第 20 評議会の創造主とさらに上位の創造主達が、私達のもとに戻ってきました。

第 21 評議会、第 22 評議会の創造主達は、光 40%台の世界にあけられていたゲートを光で閉じています。

さすがに、いくつもの異なる大宇宙を統括する創造主です。

私達の創造主がいくら試してもふさがらなかったゲートがどんどん小さくなっていきます。

創造主達はゲートを閉じ終わると光 40%台と光 50%台の世界に流れ込んでいるエネルギーの浄化を始めましたが、こちらは、異なる宇宙のエネルギーが物理世界にまで入り込んでしまったために思ったようには進まないようです。

第 20 評議会の創造主が、私達のもとにきて今回の件を説明してくれました。

「TAKESHI さん、そして皆さん、私達が気付かないうちに、異なる宇宙とのゲートが開かれてしまった事に私も驚いています。

このゲートは、私が、自分が分離した闇との統合を図っている間にひらかれたようです。私が、闇との統合を図っている間、私達の宇宙は、一時的に闇のエネルギーが強くなりとても不安定な状態になっていました。

その為に、彼等が来た宇宙との間に共鳴関係を起こしてしまったのです。

通常であれば、その様な事くらいでゲートは開かれないのですが、私達の間隙についてゲートを開かれてしまいました。

先ほどの3人の創造主を送り込んだ宇宙の創造主達は、光と闇の統合を行なっている私の様子を見て、私達の事がとても幼く稚拙に見えたのでしょう、自分達の宇宙の創造主を派遣して、私達がどのような対応をするか試してみたかったようです。

彼らは、私達の宇宙と接触したときに、最初に「メデユウーサのような創造主」に出会いました。

そして彼女から私達の宇宙にかかわる合意を得て、光40%の世界にゲートを開いたようです。

「メデユウーサのような創造主」も、私が闇との統合を終えたならば、自分もやがて光に返されると思ったのでしょう。

異なる宇宙から来た創造主達と出会った時に、自分の事を助けてもらおうと考えたようです。

「メデユウーサのような創造主」は、もし自分が光に返されたなら、自分をもう一度生まれ変わらせて私達に復讐する事を手助けしてほしいと彼等に頼んだのです。」

「それで「メデユウーサのような創造主」はふたたび生まれ変わって、私達に復讐してきたのですね。」

「そうです。  
しかし、私達に復讐する為に「メデユウーサのような創造主」は、彼等と大変な約束をしてしまったのです。」

「それはどういう事なのですか。」多くの創造主が私達の会話を真剣なまなざしで聴いています。

「「メデユウーサのような創造主」は、自分を生まれ変わらせて私達に復讐したなら

ば、この地球と地球が属する宇宙を彼等が支配しても良いと約束したのです。」

この言葉に多くの創造主が驚いています。

「あの3人の創造主達は、光40%台の世界の創造主だけでなく光50%台の創造主達に対しても、意識をコントロールしていたのは、自分達がこの宇宙を支配しようという考えがあったからですか。」

「ある意味そうだったと思います。

彼等が来た宇宙は、私達の宇宙よりもはるかに大きくて古い宇宙です。

私達よりも、優れた力を持った創造主達も沢山いますから、私達の宇宙そのものに乗っ取る事も決して難しい事ではありませんでした。

しかし、私達の宇宙に送り込まれた創造主は、彼らの宇宙の中では最下層の創造主でそこまで大きな力を持っていない創造主だったのです。

力を持っていないといっても、私達の第1評議会や第2評議会の創造主達に比べると、創造主達のマインドコントロールを一瞬にして行うほどですから、私達とは問題にならないほどの力を持っています。

しかし、本気で私達の宇宙を手に入れるつもりなら、もっと力が強い創造主を大量に送り込んできたでしょう。」

「そうですね、彼らの宇宙の創造主が本気を出して来たら、私達は全く太刀打ちできなかった事でしょう。」

と私も答えます。

「という事は、彼等にしてみれば、私達の宇宙を手に入れようという気持ちはなかったと思われれます。

この宇宙の創造主達は、私達の宇宙がどれほど成熟しているのか、あるいはこのような危機の時に、どれだけしっかり対応できるのか見てみたかったのだと思います。」

「その様な事をして、彼等に何か利益があるのですか。」

「利益などは創造主には関係がありません。ただ、成熟していない宇宙は、ときおり他の宇宙に迷惑をかける時がありますので、私達にもっとしっかりとした宇宙を創造するように警告をしに来たのかもしれませんが。」  
第20評議会の創造主はすこし悔しそうな表情を浮かべます。

「しかしそのために、かつてに私達の宇宙にゲートを開いて、入ってくる事は許されないはずですよ。」

彼等は、創造主としてのルールを破ったのではないですか。」

「いえ、彼らは正当なやり方で、私達の宇宙に入ってきました。」

例の「メデユウーサのような創造主」が彼等に許可を与えたのです。」

そうすると第20評議会の創造主は、言葉を閉ざしてしまいました。

しかし、このあたりで恵理さんの体の様子は更に悪化して、座ってもいられない状態になってきました。

スピリチュアル・レベルでは原因が解決したとしても、物理世界では、その影響はまだ残っています。

いえ物理世界でのサイキックアタックの影響は、これからが本番と思ったほうが良いかもしれません。

このままでは危険ですので、創造主との話を打ち切り、彼女とお腹の中の子供の安全のために、すぐに病院に行く事にしました。

私達の体のメンテナンスをしてくれているクワトロ星人も、異なる宇宙の創造主達の異質なエネルギーが恵理さんや私の体にたくさん入り込んできているために、手の施しようがなく、せめて物理世界での診療を行なうように進めてくれています。

また、いつも私達の体の不要なエネルギーを浄化してくれるレインボースターピープル達も、異なる宇宙のエネルギーを処理する事ができないようです。

私達が、急いで病院に行くとすぐにかかりつけのお医者さんが診てくれました。

原因は不明ですが、腎臓に大きな炎症が起こっており、胃腸もだいぶ弱っているようです。お医者さんは、恵理さんにすぐ緊急入院を指示し、そのまま入院する事になりましたが、もう少し来るのが遅ければ、切迫流産の可能性もあったようです。

もし、この「メデユウーサのような創造主」と異なる宇宙から来た創造主を見つける事が、もう少し遅ければ、お腹の子供に大変な問題が起きていたかもしれません。

そうなると、創造主達の太陽種族を生み出す計画に大きな問題が生じる事になります。

### PART3 異なる大宇宙の創造主達

第20評議会の創造主は、自分が作った宇宙が、まだ未熟である事を思い知らされたようです。



第 20 評議会の創造主の様な大宇宙を創造できる創造主は、私達の宇宙以外にも数名いるようです。

そして彼らは第 20 評議会の創造主を指導する第 21 評議会や第 22 評議会の創造主のもとで宇宙の創造を行なっています。

今回の件は、第 20 評議会の創造主では解決できない問題でしたので、第 21 評議会と第 22 評議会の創造主達はその解決のために、私達の宇宙に介入してきた宇宙の創造主と話をしてくれたようです。

翌日、第 21 評議会の創造主が私に事の成り行きを教えてくださいました。

「TAKESHI さん、今回の事は第 20 評議会の創造主にはとても大きなショックだったようです。

彼が自分の闇との統合を図っている間、彼が作った大宇宙は大きなエネルギーの変調に見舞われました。

その様子は、他の大宇宙の創造主達にもはっきりと分かるほどだったのです。

そのために、他の大宇宙の創造主達が、皆さんの大宇宙を調べる為に、その変動の中心でもある地球に、物理世界に近い創造主達を送り込んできたのです。

元々彼等は、皆さんの宇宙を支配するつもりなど全くありませんでした。

彼等は、その当時あふれていた闇のエネルギーの波長に、自分達の波長を合わせて、私達の宇宙に入ってきたために、光 40% 台の世界と最初に遭遇し「メデユウーサのような創造主」と出会ったのです。

彼等は「メデューサのような創造主」が、この宇宙の本来の創造主であると思い、彼女の言葉を信じたようです。

その後しばらくして「メデューサのような創造主」が皆さんによって光に返されてしまいました。

その様子を見ていた異なる宇宙の創造主には、この宇宙は平和な宇宙ではなく、争いや支配が横行する宇宙のように見えたのでしょう。

確かに、少し前まではそうでしたので仕方がない事です。

彼等は、「メデューサのような創造主」を再度生きかえらせると共に、彼らの方法で、皆さんの宇宙に統一感をもたらそうとして、自分達の宇宙のエネルギーを光40%台の宇宙に流し込んだようです。」

私達は、自分達が行なった事も、彼等に誤解されてしまったのだと思いました。

「彼らの宇宙のエネルギーは、光40%台にいる多くの創造主達の意識を変えてしまいました。

自分達の仕事が終わるまで余計な邪魔をされたくなかったためでしょう。

彼らの思考には、今迄とは何の変化もない宇宙に見えるようにされていました。

そして、彼らの宇宙のエネルギーが光40%台の世界に満ち溢れてくると、この世界で優勢だった闇の力が今まで以上に強くなってきたのです。

彼等の宇宙には、闇と光という概念はありません。

私達の世界に2つの異なるエネルギーがあるので、優勢な方のエネルギーを強くする事で統一感が出ると考えたのかもしれませんが。皆さんの多数決の理論と同じです。その世界が同じエネルギーになって行けば、争いなどは少なくなっていくます。」

「しかし、他の宇宙の創造主が、アセンションの途上にある宇宙に関わる事は決して望ましい事ではありません。

皆さんの宇宙は、現在アセンションの只中にあり、進化の過程を体験しているところなのです。

皆さんの宇宙の未来は、皆さん自身の判断にゆだねられていますので、他の宇宙からの介入は止めなくてははいけません。

私達は、この宇宙の創造主のもとに行き、皆さんの宇宙との間にひらいているゲートを閉じて、異なる宇宙の創造主は撤退してもらう事をお願いしました。」

「それで、向こうの宇宙の創造主は何と答えたのですか。」

「彼等は、彼らなりの考え方で、皆さんの宇宙に入って行った事を説明してくれました。彼等は決して悪意があって行ったのではない事を皆さんにも理解してほしかったようです。

そしてゲートを閉じる事を認め、自分達の方からもこれ以上関わらない事を約束してくれました。」

「私達の宇宙に入り込んできた3人の創造主はどうするのですか。」

「彼等は、このような事を見越して送られた創造主のようでしたので、私達の方で光に返しました。」

私はこの事がこれ以上大きな問題とならずに解決した事を嬉しく思いました。

今回関わってきた宇宙は今までの宇宙とは異なり、第20評議会の創造主でも対応できない宇宙ですので、今まで、私達のアセンションを妨害してきた宇宙とはレベルが異なります。

彼らがもし、本気で私達のアセンションを妨害しようとしてきたら、創造主とスターピープル達の長い間の苦労は一瞬で吹き飛んでいた事でしょう。

しかし気掛かりな事があります。

異なる宇宙から私達の宇宙に流れ込んできた異質なエネルギーの処理を早く行なわなければ、私達の宇宙は大きくバランスを崩したままです。

スターピープル達からの報告では、光40%台の世界と光50%台の世界の境目が大きく崩壊し、エネルギーが乱れているようです。

「創造主よ、異なる宇宙との間のゲートが閉じた事はよかったのですが、すでに入り込んできている彼らの宇宙のエネルギーは、一体どうしたらよいのですか。」

「そこが大きな問題です。

皆さんの宇宙の創造主では、このエネルギーの処理はできないのです。

その為に、このようなエネルギーの処理を得意とする創造主の皆さんをお呼びしてありますので、TAKESHIさんゲートをお借りして、地球の物理世界のエネルギーの処理を行ないたいと思っています。」

第21評議会の創造主がそう言うと、今まで見た事もない鮮烈な光をもった創造主達が、

ずっと私の体を通り抜けるようにして、地球の物理世界に入ってきました。

「彼らはいったいどんな創造主なのですか。」  
私は思わず聞き返しました。

「彼らは、皆さんの宇宙の創造主ではありません。

非常に高度に洗練され進化した宇宙の創造主の皆さんです。

時折、このように異なる宇宙同士が接触して問題を起こしますので、その問題の対処をする事を得意としている創造主です。

彼等をお願いして、皆さんの宇宙の中に流れ込んでしまった異質のエネルギーの処理を行なってもらう事にしました。」

彼らは、非常に美しく力強い光を私達の宇宙に流し、異なる宇宙から流れ込んできたエネルギーを浄化しています。

もちろん、今回「メデユウーサのような創造主」から復讐のターゲットにされた私と恵理さん、そして私の家にひらかれた大きな闇のゲートもきれいに片付けてくれるようです。病院に入院した恵理さんも点滴を受け、少しずつ症状が回復しているようです。

## PART4 異なる宇宙によって力を得たダークピープル達

恵理さんが緊急入院した翌日の夜の事、私は子供と2人で寝ている間、私の脳を蝕むようなエネルギーに悩まされていました。

脳に電気ショックの様なものが走るたびにその痛みは私の親指まで響きます。

その電気ショックのような痛みは、暫くの間、私の睡眠を奪い続けます。

異なる宇宙とのゲートが閉じられたとしても、異なる宇宙のエネルギーは、まだ地球の物理世界に残っており、私達の心と体を悩まし続けているようです。

翌日、私の体に何が起きたのか、恵理さんと共に調べる事にしました。

時間をさかのぼって昨夜の状況を調べると、私の家の上空にダークピープル達の宇宙船が止まっているのが見えました。

彼らは、宇宙船の中から特殊な機械とエネルギーを使用して、私の脳や体に細い光ファイバーの様な物をつなぎ、私に電気ショックを与えたり、私の中に有る情報を盗み取っている様子が映し出されました。

この半月ほど、親指に電氣的なピリピリとした痛みが起こるようになっていたのですが、その原因がこの光ファイバーを通じて、私の脳に送り込まれてくるエネルギーだったようです。

私はすぐに、スターピープル達にお願いしして、この宇宙船とダークピープル達を捕えてもらい私の体に埋め込まれた光ファイバーの様なコードを全て抜き取って貰います。

私はフレッドに尋ねます。

「フレッド、彼らはこの地球のダークピープルですか。

これだけ私の近くまで来て、私の体に攻撃を行っていた事に、皆さんは気が付かなかったのですか。」

フレッド達は申し訳なさそうな顔をして言います。

「TAKESHIさん、大変申し訳ありませんでした。

異なる宇宙の創造主によって、光40%台の世界に異なる宇宙のエネルギーが流れ込ん

できた事により、ダークピープル達の力が突然強力になってしまいました。

そして、異なる宇宙のエネルギーにより、彼らは新たな力も身につけましたし、その姿も私達からは見えないように隠されてしまいました。

先日、異なる宇宙の創造主が光に返された事により、ダークピープル達を隠していた力が消えたので、私達も彼らを見る事ができるようになりました。

彼らの宇宙船はおそらく4月の後半ごろからTAKESHIさんの家の上空にとどまり、TAKESHIさん家族の体調を壊したり、皆さんの活動や子供の出産の妨害を行なおうとしていたようです。」

私は深くため息をつきます。

「彼らは、人と一体化してしまったダークピープルでしょうから光に返す事はできないとしても、その能力を削減する事はできませんか。」

「彼らの能力は、物理世界のエネルギーの浄化と共に次第に消えていくと思います。そうしたら、通常のダークピープルに戻ると思いますのでご安心ください。」

「エネルギーの浄化は何時頃終わりそうですか。」

「おそらく1週間くらいで終わるのではないかと、創造主の方達は言っておられました。私達も、その程度で終了するように、お手伝いしているのですが、私達にとっても初めての事なので、、、」

スターピープル達も、ここまでアセンションを進めてきたのに、今になって大きなダメージを受けてしまった事に大きなショックを受けている感じです。

確かに最近は、世界各地で火山の噴火が更に頻発し、地震なども起こっています。

これらの事も、私達の宇宙に流れ込んできたエネルギーにより、地球の自然環境のバランスが崩れてしまったためかもしれません。

また子供達や女性達をターゲットにした凶悪な犯罪も頻繁に起こっています。

これも、異なる宇宙のエネルギーによって力を増したダークピープル達の仕業かもしれません。

異なる宇宙とのゲートが閉じられ3日ほどたつと、浄化を専門とする創造主によって私達の宇宙のエネルギーもだいぶきれいになってきました。

私達の周りをうろついていたダークピープル達もすべて処理できたようです、私達の体調も元に戻ってきました。

暫く病院で点滴を続けていた恵理も10日には点滴も外れ、食欲も出てきたようです。ただ、病院の先生は何が原因でこの症状が出たのか、全く分からないために、もう少し様子を見る事になりました。

私達も、闇の創造主とダークピープルによるサイキックアタックが原因ですとも言えず、完全に良くなるのを待つしかないようです。

この異なる宇宙の創造主達が、光40%台に開いたゲートから流し込んだエネルギーは5月の中旬頃にはきれいになるでしょう。私達に宇宙のクリーニングを担当してくれている創造主達と私達の宇宙の創造主達が力をあわせて働いてくれています。

異なる宇宙の創造主を光に返してから2日ほどは、私達が住む鹿児島は大変な大雨に見



舞われたのですが、昨日から、非常に美しい青空に恵まれ、地球のエネルギーがどんどんきれいになっていくのを感じます。

地球の浄化が終わったら、創造主とスターピープル達は、地球の物理世界の枠組みを再度作り変える事になりそうです。

しかし今度は、今までよりもさらに堅固なものが出来上がってくる事でしょう。

私達は、本来ならば、もうすでに地球の物理世界の分離を終了して、光50%台の世界では、人々とスターピープルのファーストコンタクトの準備に入っている予定でしたが、今回の件でかなり予定がずれてしまいました。

次回のアセンションブックには、アセンションした世界のお話をぜひご紹介したいと思います。

どうか、これから先は予想もしないトラブルが起きないように祈りたいところです。

## 各評議会の創造主の一覧

### ○各評議会の創造主とスターピープル一覧

	創造主の役割 アセンションを妨害する理由
第20評議会	<p>私達の宇宙や幾つもの宇宙の物理的世界。スピリチュルな世界を統治する自分の中の闇の部分を持ち離し光だけの創造主になろうとしたが、分離した闇が独自の闇の創造主に成長し創造主大戦争を引き起こした。</p> <p>この創造主が自分が切り離した闇と統合することは今回のアセンションの一つの目的だった。</p>
第18～19評議会	<p>第20評議会から生み出された各系列の最高次元の創造主達。「愛の創造主」「守護の創造主」「光と闇の創造主」が長い時間の封印を解かれて復活</p> <p>「全ての闇の創造主を統治する創造主」もこの評議会の創造主</p> <p>「始まりと終わりの創造主」が闇にまみれ、他の3人の創造主との間に創造主大戦争を引き起こし、3人の創造主とその系列の創造主を封印し、闇の創造主がいくつもの宇宙を統治するようになった。</p>
第17評議会	<p>物理的な宇宙を管理する最高責任者。5人の創造主がひとつの意思に基づいて動いている</p> <p>私達の宇宙を光に満ちた宇宙にするために、地球のアセンションを通して創造主達を再構成しようと考えていたが、「変化の宇宙」の創造主達の介</p>

	<p>入により予定が大きく狂ってしまい、地球のアセンションは混乱した。それを収拾する為に物理世界にも介入してはたらいてくれている。</p>
第16評議会	<p>創造主達の指導を行い、宇宙創造の管理を行う 私達の活動をサポートする「時と空間を司る創造主」もこの評議会の1人</p> <p>第17評議会によって第16評議会の中に、下位の評議会の創造主を成長させるために、あえて問題を引き起こす創造主達が作られた。彼等が「変化の宇宙」の創造主達により強化され、第17評議会も手におえない程に、凶悪化してしまい「すべての闇を作り出す創造主」を中心に私達の宇宙の支配をもくろみ、私達の活動に介入してきた。</p>
第15評議会	<p>物理次元を持つ宇宙に関わる最高次元の創造主。 アセンション計画の創始者私達を地球に降ろした創造主。</p> <p>異なる宇宙の創造主達にコントロールされて他の宇宙とのゲートを開く。第15評議会から出ていった創造主「全ての闇の宇宙を統括する創造主」により闇に満ちた宇宙が数多く作られ、地球のアセンションを妨害する為に多くの罠が仕掛けられる。</p>
第13評議会	<p>私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて創造主達の指導を行う。</p> <p>5人いる第13評議会の創造主のうち3人が、「すべての創造主を指導する創造主」を生みだした創造主により意識をコントロールされ「すべての創造</p>

	主を指導する創造主」を擁護し、地球のアセンションを妨害していた。
第12評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて創造主達の指導を行う。
	第12評議会のリーダー的存在である「すべての創造主を指導する創造主」が下位の評議会の創造主の働きを多様性のある宇宙を創るという事で擁護していた。そして自分もこの宇宙の実権を全て握るために、他の宇宙の創造主を巻き込みアセンションの妨害をおこなってきた。
第11評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて全ての宇宙の創造を行う責任者
	「感情に飲み込まれた創造主」が、「略奪の宇宙」「無機質の宇宙」「カオスの宇宙」などから高い能力を持つ創造主やダークピープルを地球に招き入れ、アセンションした世界の破壊をもくろむ。
第10評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて全ての宇宙の創造を行う責任者
	第10評議会の創造主達と対立する「混乱の宇宙を作った創造主」が地球にアセンションを妨害する為にさまざまな計画をめぐらし、自分達の宇宙の創造主を利用したり、他の宇宙からの創造主を招き入れる。
	創造主の役割と創造主の墮落の原因
第9評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて管理や指導を行う。
	「リセットの創造主」が、創造主の学

	<p>びを行わせるために、下の創造主の正義感や判断力を忘却させ、混乱に陥れる。</p>
第8評議会	<p>全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。</p> <p>私や恵理さんと同じスピリットを持つ創造主が、宇宙の様々な世界の探査を行う。</p>
	<p>第9、第10評議会に、下の宇宙の出来事を報告する「全てを見渡す創造主」が「リセットの創造主」により正義感を失わされ、支配欲を持ち「怒れる創造主」を作ったり、宇宙を支配のための企てを行う。</p>
第7評議会	<p>全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。</p> <p>「全てを見守る創造主」がリーダー</p>
	<p>上の評議会から闇を持った創造主として生み出された「怒れる創造主」が評議会に反乱を起こし全ての宇宙での闇の創造主の大元となる。</p>
第6評議会	<p>全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。</p> <p>「全ての創造主の働きを持つ創造主」がリーダー</p>
	<p>「変化を促進する創造主」が、創造主を成長させたいという理由で宇宙に闇のエネルギーを流すが、本当の理由は宇宙の支配。</p>
第5評議会	<p>第4評議会が作った全ての宇宙を管理。「陽の働きを持つ創造主」がリーダー</p>
	<p>第4評議会の創造主達から騙されて闇に落ちた「暁の光の創造主」が下部</p>

	<p>の創造主の光を奪う。</p>
第4評議会	<p>1人1人の創造主が、独自に宇宙の原型を作り出し、スターピープルと下部の評議会に創造を委ねる。お互いの宇宙にはあまり関わらない。</p>
	<p>「光を生み出す創造主」と「力を生み出す創造主」が対立していたが共に闇の創造主となり、2人が手を組んで宇宙の支配をもくろむ。下部の評議会の創造主達を闇の創造主に仕立てあげていった。</p>
第3評議会	<p>「道を指し示す創造主」を中心に、第4評議会の創造主によって作られた宇宙の細かい部分を創造し運営する。他の創造主を信頼するあまり闇落ちた創造主を放置する。</p>
	<p>「宇宙の創造を管理する創造主」や「道を作り出す創造主」が闇の創造主となり、この宇宙を光の創造主から奪い取るために、闇の創造主達を地球の各地に配置しアセンションを妨害してきた。彼等は第4評議会の創造主に操作されていた。</p>
第2評議会	<p>「栄光の創造主」を中心に第3評議会によって作られた宇宙の創造と運営を手伝い、第1評議会の働きを管理し手助けを行う。様々な宇宙の中で大きな問題が起きた時はその解決にあたる。</p>
	<p>第3評議会の闇のエネルギーによって過去に創造主大戦争を引き起こした。今回も闇のエネルギーの影響で、第2評議会の中心的な創造主が闇に落ち、宇宙を混乱させ、アセンションを妨害し、私達にも大きなサイキッ</p>

	ク・アタックを行なった。
第1評議会	「源の創造主」をリーダーに「光彩の創造主」等が上の評議会から託された宇宙を具体的に運営する。また物理世界に生きる多くの存在達の成長を助け、宇宙連合へ迎え入れる。
	上位の評議会からの闇のエネルギーの影響で、第1評議会の創造主のリーダーである「創造主の独自性を育てる創造主」等、主だった創造主が闇の創造主となり大きな勢力を作り、光の創造主を圧倒していた。 そのために地球を始め多くの宇宙に闇がはびこり、ダークピープルが宇宙を荒らしまわる事となった。
物理的宇宙	宇宙連合によって生み出された宇宙、多くの銀河や星団に別れ独自に発展している。
	闇の創造主やダークピープルによって地球だけでなく多くの星々が闇が多い世界となり、人々の成長を阻害している。

## ★物理世界を持つ宇宙

### ○第1レベル 天の川銀河の中の創造主

階層としては一番下の階層の創造主です。主に星々や星座の働きを保ち、星に存在する生命達を生みだします。

彼等は星座の創造主とも呼ばれています。

その上には、天の川銀河全体の管理と創造を行う創造主もいます。

## ○第2レベル 局部銀河の創造主

私達にとって観測可能な宇宙（ユニバース）の中でも、天の川銀河やアンドロメダ銀河を含む局部銀河が一つの宇宙の単位となっています。

この局部銀河を治める最高の創造主は、私達が「界王」呼んでいる創造主で彼のもとに多くの創造主が役割を分担して存在しています。

私は、局部銀河の運営にたずさわる創造主を「グレートゴッデス」と呼んでいます。

特にグレート・イエスやグレート・マリアは地球の事をとても大切にしてくれています。

## ○第3レベル 観測可能なユニバースを統治する創造主

物理的な世界を持つ宇宙（ユニバース）を直接統治する創造主達です。

主に第4レベルの創造主に対応する創造主達がいて、第4レベルの創造主の指示のもとに単一宇宙であるユニバースを運営しています。

## ○第4レベル 多次元宇宙を統治する創造主

観測可能な宇宙だけでなくパラレルワールドも含む多次元宇宙を統治する創造主達の世界です。

そのリーダーは、エンソフと呼ばれる創造主です。彼のもとに、星々を創造する創造主、人々の運命を司る創造主、宇宙の安定を保つ創造主、ドラゴンや精霊を生み育てる創造主、4大エレメントを駆使して宇宙を創造する源のエネルギーを作る創造主、叡智ある存在が適正に育っているか調べる創造主などが存在して、多次元宇宙の創造と運営を行っています。



## ★スピリチュアルな宇宙

### ○第5レベル 物理的な宇宙を創造し運営する創造主

このレベルの創造主からは、たくさんの階層と役目を持った創造主が存在します。

物理的な宇宙を創造し運営する役目を持ち、私達の物理世界にも関われる創造主達です。第1評議会の中心的な創造主達になります。リーダーは、「源の創造主」「光彩の創造主」で宇宙のスーパーコンピュータを管理する創造主なども含まれます。

### ○第6レベル 物理的な宇宙を管理しスピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第2評議会、第3評議会の創造主達で、上位の評議会の創造主の指示のもとにスピリチュアルなレベルでも宇宙を創造していきます。

彼等は、上位の評議会の決定を自分達の評議会で議論し、どのような方法で宇宙の創造と運営を実行するか決めて行動します。

### ○第7レベル スピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第4評議会の創造主で、物理的な宇宙の元となるスピリチュアルな宇宙を作ります。この宇宙の原型を基に、第3評議会と第2評議会の創造主やスターピープル達がスピリチュアルな宇宙の細かい創造を行います。

彼等は、マルチな能力を持つ創造主で1人1人が独立して、自由に宇宙の創造を行う権利が与えられています。

### ○第8レベル 創造された宇宙の管理を行う創造主

第5評議会以上の創造主達は、宇宙の創造は

行いませんが、彼等よりも下の評議会の創造主が作った宇宙が適切に運営されているかどうかの検査を行っています。

非常に高い能力を持っている事はもちろんですが、どの次元にも自由に入る事ができ、多くの宇宙を見守っている創造主です。

## ○第9レベル いくつもの宇宙を管理する創造主

第9評議会以上の創造主達は、私達の宇宙以外にもいくつもの宇宙に関わり創造や管理を行うようになります。

## 宇宙連合の評議会について

宇宙連合は、私達の天の川銀河やアンドロメダ銀河だけでなく多くの星団や星雲が含まれる宇宙をいくつも束ねた大宇宙を見守るグループです。

私達は、宇宙の本当の姿を未だ知りませんが、私達にとって観測可能な宇宙をユニバースと呼ぶのなら、そのユニバースの中に存在している創造主やスターピープル達の連合と考えてもよいと思います。

しかしこのユニバースの中にも計り知れない銀河が存在しているのも事実です。

また、私が語る話はスピリチュアル・レベルの話ですので、実際の天文学の話とはかなり異なるという事だけをご理解ください。

先ず宇宙連合は、宇宙を創造し運営する創造主達とその仕事をサポートするスターピープル達の集まりです。

創造主やスターピープルの能力や資質、そしてその働きによって異なる階層の評議会に

別れて活動しています。

その階層のリーダー的な創造主達とスターピープル達によって評議会の会議が行われ、自分達の行動が決定されます。

第1評議会は、宇宙連合では一番下の評議会として、物理的な宇宙の運営に当たります。

第1評議会は、創造主もスターピープルも最も数が多く、その役目も多岐にわたります。この評議会に属するスターピープル達は、物理的もしくは半物理的な体を持つスターピープル達ですので、地球を始め物理的な世界を持つ他の星々にも関わる事ができます。そして、地球人も含めて、まだ十分に成長していない人々に対して、意識進化のための様々な取り組みを行います。

宇宙連合の第1評議会は、物理世界を持つ多くの銀河や星団に関わり、その銀河や星団、もしくは星々の平和を守るための活動を行います。

第1評議会の中には、アシュタール連合のように独自のグループを作って活動している者達もいますが、彼等も第1評議会の指示のもとに動いています。

また第1評議会は、スターピープルの説明のところでご紹介したように、未発達な星々の種族を成長させスターピープルへと導く仕事も行っています。

この宇宙の中で一つでも多くの種族が愛と叡智に目覚めて宇宙の平和のために貢献できるようにする事が第1評議会の目的でもあります。

第2評議会と第3評議会は、スピリチュアルな宇宙と物理的な宇宙の創造に当たります。

もちろん物理的な宇宙に関しては、第1評議会が中心となって創造活動を行うようですが、第1評議会を指導し、より良い宇宙を創る事が彼等の仕事でもあります。

しかしながら、これからのレポートでもご紹介するように、第4評議会に属する創造主が闇に落ちてしまった事で、第3評議会、第2評議会の創造主達も大きな闇に巻き込まれる事になりました。

その結果、第3評議会のほとんどのスターピープル達が闇の世界に閉じ込められ、第3評議会の仕事が順調におこなわれていないという事態に陥っていました。

第4評議会は、スピリチュアル・レベルの宇宙の創造を行い、物理的な宇宙のひな型を作り出していきます。

この第4評議会の創造主は、自分が創造する宇宙の全てを任されているので、自分の考えだけで独自の宇宙を作り出す事ができます。

第5評議会から上の評議会は、物理的な宇宙の創造には関わりませんが、創造主達を指導したり、下の階級の創造主が作り出した宇宙を検査する役目を持つ創造主達の世界です。

第5評議会の創造主達は、宇宙創造に必要なエネルギーを、第4評議会の創造主達に供給します。

第4評議会の創造主が闇に落ち地球の支配を計画している事が分かったと、他の評議会の創造主やスターピープル達では対応できな

いので、彼等が中心になって地球の物理世界を調べ、この創造主達を処理する役目を担ってくれました。

## 光りの世界の区分

### ○光の世界の区分

ここでは、まず光の地球といっても一つではなく、光に依じていくつもの地球に分かれている事をお知らせしておきます。

そして、ここでは大まかに60%台、70%台と書いていますが、本当は、1%単位で世界が異なっていますが、大まかな区分のみで説明させていただきます。

地球の光と闇の割合は、およそ光40%、闇60%、現在はもう少し光の割合が多い世界の様です。

この割合の世界では、闇の力が強いので、戦争やテロ、殺人や虐待、人種差別などが起こりますが、光の割合が50%を超えると、戦争や殺人などもほとんど起こらなくなりますが、まだ学びが必要な人には、その学びにふさわしい事が起こります。

60%台になると、愛と調和に満ちた人々が増えてきますので、人間としての完成を目指すような学びが始まります。

しかしそれは争いなどの人を傷つける事ではなく、どれほど愛を注げるか、とかどれほど人のために尽くせるかなどといった、とてもポジティブな学びになります。

また人々も、言葉でなく意思疎通ができるようになりますので、嘘を言ったり、心の中に隠し事ができなくなるような世界になるかもしれません。

そしてさらに大切な事は、スターピープル達に対する理解が求められるようになります。

更に光りの度合いが70%よりも強くなると、学びが少なくなり、愛と共に生きようになりますので、争いや差別などもほとんど起こらずに調和に満ちた世界が繰り広げられます。

生きている人では70%台が最高クラスになるようです。

更に光りの割合が80%を超えると、もう物理世界に生きている人はほとんどいなくなり、宇宙の運営に関わる仕事を始める事でしょう。

それでは、どのような人がどのような世界に入れるか、創造主の極秘事項ですが、こっそりお教えしますので、少しでも上の世界に入れるよう努力してください。

またこの事は、私達の主観ですので、違うと思う人は信じる必要はありません。



光90% 台の世界	宇宙の管理者として働くスピリチュアルな存在達の世界。
宇宙のマスターの 世界	憎しみや争いなどとは無縁で愛と調和のみが存在する世界。 また宇宙の管理者となるべく学

	<p>びを行う世界。          自らが愛と光りになるために学びを行うスピリット達の世界。</p>
<p>光80%          台の世界          宇宙と地球に生きるマスターの世界</p>	<p>宇宙のために働くスピリチュルな領域に生きる人々。          自らもスターピープルとなり、宇宙の中にある様々な問題の解決のために働く事を喜びとしているスピリット達。          ここに入る人は、宇宙で起きている事を深く理解し、常に真実を求め努力してきた人。          地球においては、地球の中にある不正を知り、それを正すために戦い、地球と地球に生きる人々を自由で平和な者にするために常に努力してきた人々。          この地球の闇を知りながらも、憎しみを捨て愛によって生きてきた人達。          人間としてのエゴを捨て、自分の人生を他人のために奉仕してきた人達。</p>
<p>光70%          台の世界          物理的な光の地球での指導者の世界</p>	<p>光80%の人達と同じように、地球の闇と闘い続けてきた人達の中で、自分のエゴや欲望を捨て、愛の人として生きる実践を行う人々。          またスターピープルの事を深く知り、彼らと共に働ける人。          自分の感情に振り回されずに常にニュートラルな立場にあって真実を追い求める人          地球と人の事を、愛をもって考え行動してきた人達が、肉体を失っ</p>



	<p>た後に行く世界。        現実世界に生きる人も少数存在し、地球の人達が光りの世界に行くためのサポートをスピリチュアル・レベル、現実レベルで行う。60%台の世界の学びを終えてからこの世界に来る事が多いようです。</p>
<p>光60%        台の世界        地球では        光の世界        として新        しく生ま        れた世        界。        宇宙意識        に目覚め        るための        世界</p>	<p>60%台の後半の人は・・・        常に正義と愛のために生きてきた人。        欲望に振り回されず、欲望と感情を上手にコントロールできて、自分の中の光と闇を統合してきた人。        スターピープルの事を理解し上手に付き合う事ができる人        この世界は、さらに上の世界に行くための通過点として、肉体をもって学びを行う人達が入る世界。        少数民族の人達の仲でも、一般社会を知りながらも、その社会に毒されず、常に祈りを行ってきたシャーマンや神官、少数民族の文化やしきたりを守ってきた人々。        ここに属する人は、これからの「光の地球」をしっかりと守護し、人々を導いていく立場にある。</p> <p>60%前半の人は・・・        光の世界にはいる為の教育が行われる世界。        地球や宇宙の仕組みを学ぶために生きてきた人達で、さらにその学びを続ける人。        しっかりと愛や調和を目指して</p>

生きてきたが、まだ十分に実現出来ておらず、自分の中の光と闇もしっかりと統合できていない人。周りの人に対して愛と奉仕の気持ちを持って生きてきたが、今まで宇宙や地球に対しての理解も十分でなくスターピープルの事もよく知らない人達が、学びを行うための場所。

この世界では争いや戦争、差別や虐待もなくなり、地球人同士でも愛に基づいた関係がはじまり、安らぎと光りに満ちた世界が生まれてくる。

光56%  
~59%  
の世界  
光が多い  
学びの  
世界

光の割合  
はイラスト  
と異なり  
ますが、  
こちらの  
割合が最  
新です

この世界からアセンションした世界としてスターピープル達により保護される世界になります。

今の地球よりはさらに光がある世界で、戦争や争い、虐待、殺人などは減り、愛と調和に満ち、自然破壊などもなくなり環境問題も解決していく世界となるでしょう。

この世界に行く人は、今の世界でも良心を持って生きてきた人で、人の役に立ちたいと考えて生きてきた人達です。

そして、地球人としての進化を望む人がこの世界に入り、光の世界へ入るための学びを行います。

この世界の学びは「愛の実践」です。

宇宙の愛を身につけ、人のために奉仕する事がこの世界の学びとなります。

この世界で学びを終わった人は、

本格的なアセンションの世界である光60%以上の世界に生まれ変わります。

強い欲望や支配欲を持った人や人と争う事が好きな人は入れません。

人をだました人、人に不正を働く人、自己中心的な人は入れません。

光51%  
~55%  
の世界  
光と闇の  
境界の世  
界

ここは光りの世界と闇の世界の境界線にあたる世界で、中間の世界とも呼ばれています。

現在の地球よりは、光が強くなりますので、戦争や虐待などはすこしずつ減ります。

時間がたつにつれ、現在よりはまともな政治家や経済人が現れ、社会の変革も進むでしょう。

この世界にはいる人は、戦争や支配、抑圧のある世界を嫌っている人で、もっと愛に満ちた世界、調和のある世界に入りたいと考えている人達です。

また他人のために役に達たいと思いい行動している人や他人に親切にする事が好きな人達がこの世界に入ってきます。

ただしこの世界には、狡猾な地球外存在達もすでに入り込んでいるので社会の混乱や自然災害も起こりますので、その様な事を乗り越えていく事が、この世界の人々の学びとなります。

ヒーリングやスピリチュアルな仕事をしている人でも、人々の幸福のために働いている人は、この

光の度合  
いはイラ  
ストと異  
なります  
が、こち  
らの度合  
いが最新  
です

	<p>世界に入りますが、物欲や支配欲、名誉欲のためにしている人は、ここからさらに下の世界に行く事になります。</p>
<p>光40% ~50% の世界 現在の地球と同じ 学びの世界</p> <p>光の割合はイラストと異なりますが、こちらの割合が最新です</p>	<p>ここからが、アセンションとは反対にディセンションした世界となります。</p> <p>光40%台の世界は、今までとほとんど変わらない世界で、戦争や争い、テロ、詐欺、レイプ、傷害などが日常的に起こっている世界です。</p> <p>経済的な侵略によって、世界の人々は貧富の差が激しくなり差別を受けます。</p> <p>宗教、技術、論理もすべてが争いのために利用されます。</p> <p>この世界に行く人は、自然災害や戦争、原発の事故なども含め、現在の地球が体験する未来をともに体験する事になります。</p> <p>現状の世界を好みお金儲けやぜいたくな生活をしたい人達、人や自分や他人にたいして不誠実な生き方をしてきた人達は、この世界にそのまま残るようです。</p> <p>他人を支配しようと思う人、他人に依存したり、他人支配される事を好む人もこの世界にとどまります。</p> <p>この世界は多くの地球外生命体達も存在しますので、彼等の支配を受けず自立していく事が、この世界の学びとなるでしょう。</p>
<p>光30% 台の世界</p>	<p>今の地球よりもさらに闇が多くなりますので、現在よりも状況が</p>

闇が多い  
学びの世  
界

はるかに悪くなります。  
戦争やテロが多発し、多くの人  
が争いや原発事故、自然災害に  
巻き込まれ苦難の多い人生を送  
る事になるでしょう。  
そして人々はその中で多くの事  
を学び目覚めていくための機会  
を待つ事になると思います。  
この世界には、多くの欲望に取り  
付かれ、他人を支配したり傷つけ  
る事を好んで行ってきた人達が  
いく世界になると思います。